

一関市 スポーツ推進計画

令和3年度～令和7年度

～誰もがスポーツを楽しみ
健康でいきいきとした生活の実現～をめざして

令和3年3月





はじめに

スポーツは、体力の向上と健康増進に寄与するだけでなく、人々に大きな感動や活力を与え、また、スポーツイベントによる経済効果など、活気ある地域社会の形成に欠かすことのできないものとなっています。

本市ではこれまで、平成28年に策定した「一関市生涯スポーツ振興計画」（計画期間：平成28年度～令和2年度）に基づき、各種施策を展開し、市民の皆様の健康増進や体力の向上、さらにスポーツ競技力の向上に取り組んでまいりました。

新たな計画の策定にあたっては、市民アンケートの実施やスポーツ推進委員、各種目別競技協会、総合型地域スポーツクラブの皆様との懇談、また、各地区体育協会、スポーツ少年団、小中学校PTA、地域協働体の皆様とワークショップを開催して、広く市民の皆様からご意見、ご提言をいただきました。

これらのご意見を基に、一関市のスポーツ推進のあり方を検討し、「子どものスポーツ活動機会の充実」や「スポーツツーリズムの推進」など新たな基本施策を盛り込み、計画を策定いたしました。

令和7年度までの5年間、基本理念である「誰もがスポーツを楽しみ 健康でいきいきとした生活の実現」を目指して、この計画を基に関係機関・団体と連携し、市民のスポーツ活動の推進に取り組んでまいります。

結びに、計画の策定にあたってご尽力いただきましたスポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、懇談会等にご協力いただいた多くの市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

一関市長 勝部 修

目次

第1章 計画の概要

| | | |
|---|----------------|---|
| 1 | 計画策定の背景及び趣旨 | 2 |
| 2 | 計画の位置づけ | 3 |
| 3 | 計画の期間 | 4 |
| 4 | 本計画におけるスポーツの定義 | 4 |

第2章 本市のスポーツの現状と課題

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1 | 市民のスポーツ活動について | |
| 1-1 | 市民のスポーツ活動の実施状況 | 6 |
| 1-2 | 市民のスポーツ活動を支える団体等 | 7 |
| 1-3 | スポーツ教室等の開催 | 10 |
| 1-4 | 子どもの体力の現状とスポーツ活動 | 11 |
| 1-5 | 高齢者や障がい者のスポーツ活動 | 13 |
| 2 | 競技スポーツについて | |
| 2-1 | スポーツ選手や指導者の育成 | 15 |
| 2-2 | スポーツ大会の開催・支援 | 15 |
| 2-3 | 競技スポーツの現状と課題（懇談会より） | 16 |
| 3 | スポーツ施設について | |
| 3-1 | 市のスポーツ施設の現状 | 18 |
| 3-2 | 学校体育施設の活用 | 19 |
| 3-3 | 市のスポーツ施設への要望 | 19 |
| 4 | スポーツを通じた交流について | 21 |
| 5 | 市のスポーツの推進に対するニーズ | |
| 5-1 | 市民が期待するスポーツの推進 | 22 |
| 5-2 | ワークショップでの意見等 | 23 |
| 6 | 現行計画の主な成果のまとめ | 25 |

第3章 基本理念と基本目標

| | | |
|---|------|----|
| 1 | 基本理念 | 28 |
| 2 | 基本目標 | 28 |

第4章 目標達成に向けたプロジェクト

| | | |
|----|---------------|----|
| 1 | 施策の体系 | 30 |
| 2 | 重点プロジェクト | 31 |
| 3 | SDGsを踏まえた取組 | 31 |
| 4 | スポーツ推進施策の展開 | |
| 1) | 生涯を通じたスポーツの推進 | 32 |
| 2) | 競技スポーツの推進 | 35 |
| 3) | スポーツ団体等の育成・支援 | 36 |
| 4) | スポーツ交流の推進 | 38 |
| 5) | スポーツ施設の利用促進 | 39 |

第5章 計画の推進

| | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 計画の達成度を測る指標 | 42 |
| 2 | 計画の推進体制 | 42 |
| 3 | 計画の進行管理 | 44 |
| 4 | 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業の推進 | 44 |

資料編

| | | |
|------|---------------------|----|
| I | スポーツに関する市民アンケート調査 | 45 |
| II | スポーツ関係団体等との懇談会 | 55 |
| III | 一関市のスポーツを考えるワークショップ | 60 |
| IV | 一関市スポーツ推進審議会条例 | 62 |
| V | 一関市スポーツ推進審議会委員名簿 | 63 |
| VI | 計画策定の経過 | 64 |
| VII | スポーツ施設一覧 | 65 |
| VIII | SDGsにおける17のゴール | 67 |

第1章 計画の概要

- 1 計画策定の背景及び趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 本計画におけるスポーツの定義

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景及び趣旨

スポーツは、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であると、スポーツ基本法に規定されています。

また、スポーツの果たす役割は、爽快感、達成感、仲間との連帯感などの精神的充足と、体力向上、健康の保持増進といった心身の両面にわたる効果だけでなく、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化、スポーツを活用した交流人口の増加や地域活性化といった、社会的効果への期待も高まっています。

近年、ライフスタイルの変化や少子高齢化の進行などの急激な社会情勢の変化に伴い、スポーツを取り巻く環境も大きく変化してきました。このような中、国では、平成29(2017)年度から令和3(2021)年度までの5年間を計画期間とする第2期スポーツ基本計画を策定し、各種施策が進められています。

令和元(2019)年度には、日本代表選手の活躍で大きな盛り上がりを見せ、岩手県も開催地となった「ラグビーワールドカップ2019」が開催され、また、令和3(2021)年度には「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催が予定されており、これらを契機としてスポーツへの関心が大きく高まることが期待されます。

また、岩手県では、平成31(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間を計画期間とする岩手県スポーツ推進計画が策定され、「スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造」を目指す姿として、具体的な施策が展開されています。

本市においては、平成28(2016)年度からの10年間のまちづくりの指針となる「一関市総合計画」を策定し、「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」の将来像の実現に向けて、前期5年間の施策の展開を体系的に示した「総合計画前期基本計画」を踏まえ、各分野別計画による施策が進められてきました。

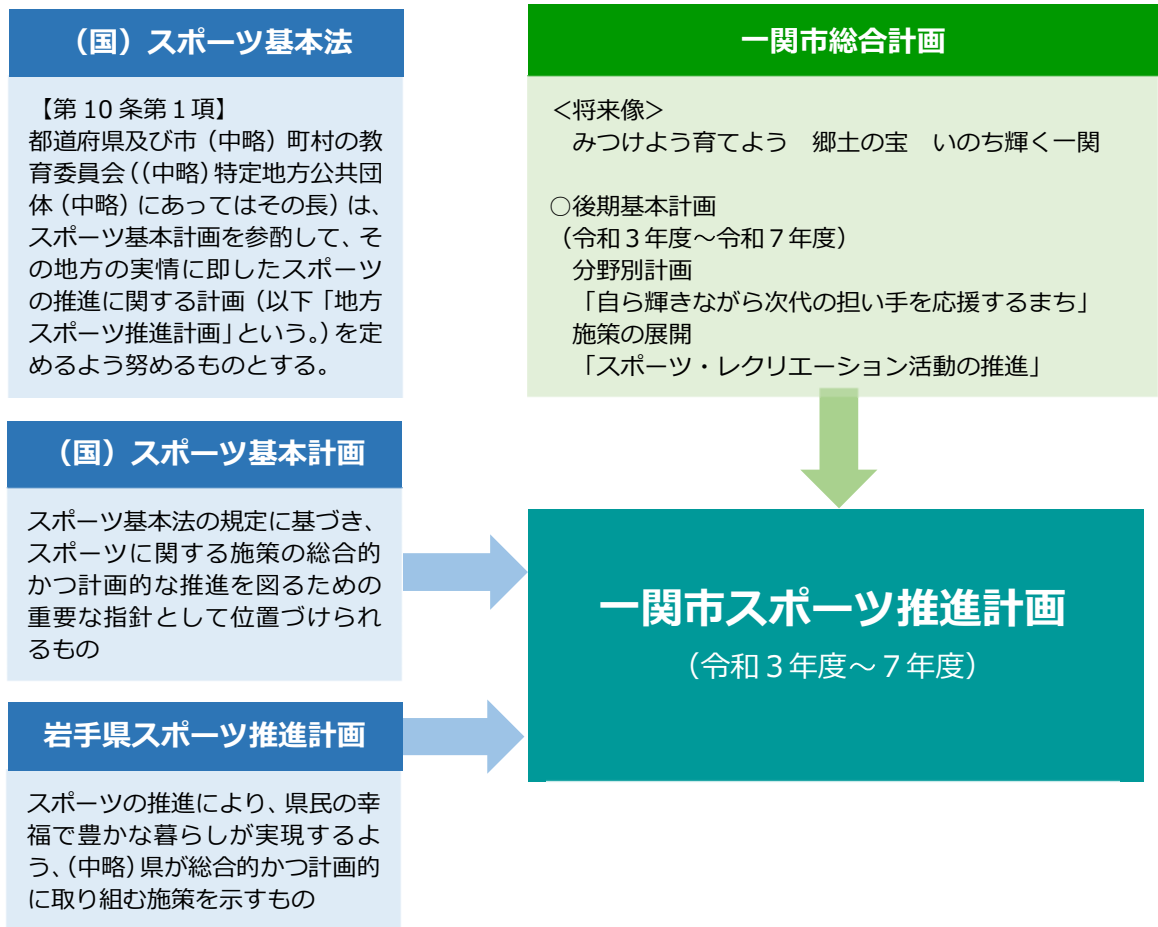
そして、この一関市総合計画を上位計画として、平成28(2016)年度から5年間を計画期間とした「一関市生涯スポーツ振興計画」を策定し、「地域に根ざした生涯スポーツの振興」を基本目標に掲げ、スポーツ振興の施策に取り組んできました。

この度、現行計画の計画期間が令和2(2020)年度で終了することから、令和3(2021)年度から後期5年間の計画期間の施策を示した「総合計画後期基本計画」を踏まえながら本市のスポーツ施策を体系的・計画的に推進するため、新たに「一関市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツの施策に関する基本事項を定めた「スポーツ基本法」（平成 23 年法律第 78 号）の第 10 条に規定されている「地方スポーツ推進計画」として策定するもので、本市におけるスポーツの推進の基本的な方向性を示すものです。

また、「一関市総合計画」を上位計画として、本市が目指すまちづくりの実現に向け、本市のスポーツに関する施策を具体的に示す個別計画です。



3 計画の期間

計画の期間は、令和3（2021）年度を初年度とし、令和7（2025）年度までの5か年とします。
この間、計画の進捗状況、社会情勢の変化、スポーツを取り巻く環境の変化などにより施策の見直しが必要となった場合には、適宜、見直していくこととします。

| ～令和2年度 （～2020年） | 令和3年度 （2021年） | 令和4年度 （2022年） | 令和5年度 （2023年） | 令和6年度 （2024年） | 令和7年度 （2025年） |
|-------------------------------|---------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 第2期スポーツ基本計画 （平成29年度～令和3年度） | → | • • • • | • • • • | • • • • | • • • • |
| 一関市総合計画 前期基本計画（5年） | 一関市総合計画 後期基本計画（5年間） | | | | |
| 一関市生涯スポーツ 振興計画（5年間） | 一関市スポーツ推進計画（5年間） | | | | |

4 本計画におけるスポーツの定義

スポーツ基本法では、

「スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」

であるとされています。

本計画では、スポーツをこの定義と同様に捉え、一定のルールに則り勝敗や記録を競う競技としての活動のほか、レクリエーションとして仲間と気軽に楽しみながら身体を動かす活動、ジョギング、体操、散歩、健康や体力づくりを意識しながら行う身体活動なども、「スポーツ」として定義することとします。

第2章 本市のスポーツの現状と課題

- 1 市民のスポーツ活動について
- 2 競技スポーツについて
- 3 スポーツ施設について
- 4 スポーツを通じた交流について
- 5 市のスポーツの推進に対するニーズ
- 6 現行計画の主な成果のまとめ

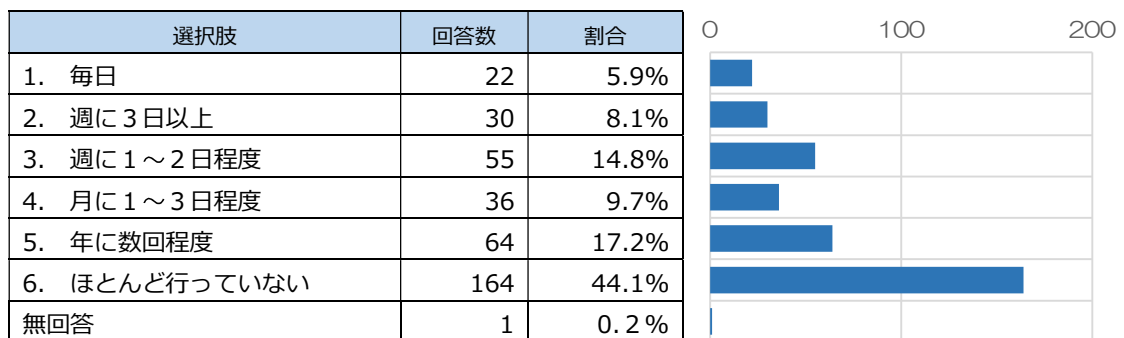
第2章 本市のスポーツの現状と課題

1 市民のスポーツ活動について

1-1 市民のスポーツ活動の実施状況

令和2年度に、18歳以上の市民を対象に実施した「一関市民のスポーツ活動に関するアンケート」の結果（以下「アンケート結果」という。）では、週に1～2日程度以上スポーツを行っている人の割合（下の表の選択肢1～3を選択した人）は28.8%となり、国のスポーツ基本計画が目指す65%程度（成人の週1回以上のスポーツ実施率）を大きく下回る結果となっています。

▶ あなたは、スポーツをどの程度行っていますか（1つ選択）



資料：令和2年度「一関市民のスポーツ活動に関するアンケート」

また、スポーツをする理由は、多い順に、「健康・体力の維持（32.0%）」、「楽しいから、好きだから（19.1%）」、「ストレス解消、気分転換（14.9%）」となっています。

主に行っているスポーツは、「散歩やウォーキング、徒歩での通勤・通学・買い物」が38.6%で最も多く、次いで「競技スポーツ」が21.8%となっています。

一方、スポーツを「ほとんど行っていない」と答えた人の割合は44.1%で、「月に1～3日程度又は年に数回程度」と答えた人（上の表の選択肢4又は5を選択した人）を合わせた71%の人がスポーツをあまりしていない理由は、「仕事や家事、育児などで時間がない（44.3%）」が最も多くなっています。また、条件が整えばやってみたいと思うスポーツは、「散歩やウォーキング」、「ヨガ・エアロビクス・アクアエクササイズなど」、「競技スポーツ」がおおむね同程度の割合となっています。

■ 課題 ■

市民のスポーツ実施率は低い傾向にあることから、年齢、好み、体力、ライフスタイルなどに応じて、より多くの人々がスポーツ活動を行える環境を整え、スポーツの実践につなげる必要があります。

- ・スポーツによる健康の維持増進に対応した、日常的に行える軽運動等の普及・推進
- ・スポーツの楽しさを感じ、継続して実践することにつながるような機会の創出 など

1-2 市民のスポーツ活動を支える団体等

(1) 一関市体育協会

一関市体育協会は、本市のスポーツ施策の中核的な役割を担っており、各種スポーツ事業の実施やスポーツ施設の運営管理を行っています。また、構成団体である一関市スポーツ少年団や、加盟団体である種目別競技協会及び各地区体育協会の育成や活動支援を行いながら、相互に連携し、市民の競技スポーツやスポーツ・レクリエーション活動を推進しています。

(2) 種目別競技協会

市内には種目別競技協会が 32 団体あり、選手の育成や競技力強化を図る事業等の実施、指導者育成を図る講習会等の開催、競技人口拡大に向けた普及活動などを行い、市民のスポーツ活動を支えています。

| | | | | |
|-------------|---------------|------------------|----------------|----------|
| 種目別 競技協会 | 一関市陸上競技協会 | 一関市水泳協会 | 一関市サッカー協会 | 一関市テニス協会 |
| | 一関市バレーボール協会 | 一関市体操協会 | 一関市バスケットボール協会 | |
| | 一関市ソフトテニス協会 | 一関市卓球協会 | 一関市野球協会 | 一関柔道協会 |
| | 一関市ソフトボール協会 | 一関市バドミントン協会 | 一関市弓道協会 | |
| | 一関クレール射撃協会 | 一関市剣道協会 | 一関ラグビーフットボール協会 | |
| | 一関市フェンシング協会 | 一関市空手道連盟 | 一関市ボウリング協会 | |
| | 一関市ゲートボール協会 | 一関市ゴルフ協会 | 一関市スキー協会 | |
| | 一関市グラウンドゴルフ協会 | 一関市少林寺拳法協会 | 一関市朝野球協会 | |
| | 一関市バウンドテニス協会 | 一関市パークゴルフ協会 | 一関市ペタンク協会 | |
| | いちのせき歩こう会 | 一関市スポーツウエルネス吹矢協会 | | |
| | 一関市インディアカ協会 | | | |

資料：一関市体育協会

(3) 地区体育協会

市内には地区体育協会が 39 団体あり、市体育協会などと連携してスポーツ行事等を開催し、地域住民が身近な場所でスポーツに親しむ機会の創出や、活動を通じた健康づくり、体力づくり、地域交流などを推進しています。しかしながら、人口減少、少子高齢化、趣味の多様化などの影響を受け、多くの行事で参加者が減少しています。

| 地域 | 一関 | 花泉 | 大東 | 千厩 | 東山 | 室根 | 川崎 | 藤沢 | 計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 団体数 | 14 | 7 | 6 | 4 | 1 | 5 | 1 | 1 | 39 |

資料：一関市体育協会

(4) スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、PTA行事や自治会の交流事業、高齢者の介護予防教室などでニュースポーツや軽体操の実技指導を行っており、市民に身近な立場で地域スポーツを支え、推進する役割を担っています。また、県の研修会などへの参加や自主研修会などを通じて資質向上に努めています。

派遣事業の利用団体からは、楽しく行事を行うことができたという感想が多く聞かれ、繰り返し活用されている現状もありますが、一方で、アンケート結果では、「スポーツ推進委員を知らな

い]という回答が6割を占めており、推進委員の役割や活動について、また、推進委員の知名度の向上や周知についての課題があります。

○ 事業実績

| | PTAや自治会等の行事、 スポーツイベント等への派遣事業 | | シルバーニュースポーツ健康増進 事業（介護予防教室への派遣事業） | |
|----------|---------------------------------|----------|-------------------------------------|-------|
| | 事業数 | 派遣した人数 | 実施回数 | 対象者数 |
| 平成 29 年度 | 138 事業 | 延べ 446 人 | 32 回 | 517 人 |
| 平成 30 年度 | 114 事業 | 延べ 465 人 | 34 回 | 576 人 |
| 令和 元 年度 | 119 事業 | 延べ 401 人 | 27 回 | 451 人 |

資料：一関市スポーツ振興課

○ スポーツ推進委員との懇談会で出された課題や意見

| 役割や活動について |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動において、スポーツ推進委員にできることがもっとあると思う。スポーツ推進委員の役割をもう少し明確にしてほしい。 ・現在の活動が派遣要請に応えることに限定されている。 ・自分が従事した活動以外の部分が見えにくいので、各地域での派遣の活動状況や他自治体での活動情報などをスポーツ推進委員全体で共有することで、今後の活動の向上につなげられるのではないかなど |
| 知名度の向上や周知について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・春に学校のPTAが集まるような機会での周知や、市の広報を活用するのもいいのではないかなど ・競技指導の自主研修などを行っているが、活用できる場があまりない。市体育協会、競技協会、学校などへの橋渡しがあれば活動の場が広がり、知名度の向上にもつながるのではないかなど |

(5) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブで、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりに向けて多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割を果たしています。

本市では、令和2年度現在、3つのクラブが活動しており、競技大会の開催、フットサルスクールの運営、体操教室の開催などの活動を行っています。市民の身近なスポーツ活動の場として総合型地域スポーツクラブが担う役割への期待が高まっていますが、活動メニューの多様化、安定した活動場所の確保、活動のための人材や資金の確保、他のスポーツ団体との連携などが課題となっています。

| 団体名 | 設立年 | 会員数 | 活動内容 |
|----------------|---------|-------------------|--------------------------------------|
| 藤沢町体育協会 | 平成 22 年 | 藤沢地域の世帯 | 競技協会が主体となった活動、各種競技大会等の開催 など |
| NPO法人ファンスポルト一関 | 平成 23 年 | 113 名 (スポーツ事業) | フットサルスクール、フットサルチーム ヴィヴァーレー関の運営 など |
| NPO法人グッジョブクラブ | 平成 27 年 | 80 名 | スポーツウエルネス吹矢教室、わくわく 体操教室の開催 など |

資料：岩手県総合型地域スポーツクラブガイド 2018 年版（岩手県広域スポーツセンター作成）

■ 課題 ■

- ・本市のスポーツ振興の中核を担う市体育協会の活動を支援するとともに、市と市体育協会が密に連携し、市民のスポーツ活動の推進に向けた有効的、効率的な取組を行っていくことが必要です。
- ・種目別競技協会や地区体育協会の課題やニーズを把握しながら活動強化などに対する支援を行い、市民の継続的なスポーツ活動につなげることが必要です。
- ・スポーツ推進委員の周知を図るとともに、活動内容の検討と資質向上に努めながら活躍の場を広げ、身近な地域での市民のスポーツ活動を推進することが必要です。
- ・地域に密着し、多様なスポーツ活動やコミュニティの核となる総合型地域スポーツクラブの設立や活動を支援し、市民が日常的にスポーツに親しむ環境を整備することが必要です。



大東ママさん・パパさんバレーボール大会



東山町民運動会



スポーツ推進委員自主研修会



令和2年度 競技団体等との懇談会

1-3 スポーツ教室等の開催

本市では、市民のスポーツ活動を推進するため、市体育協会に委託して様々なスポーツ教室やスポーツ・レクリエーション普及事業を実施しています。

| | |
|------------------------|---|
| スポーツ教室 (生涯スポーツ推進事業) | エアロビクス、ヨガ、ピラティス、アクアウォーキング、イブニングゴルフ、初心者のための登山、ジュニア体操、ジュニア水泳 など |
| スポーツ・レクリエーション普及事業 | 市民マラソン大会、市民体育大会、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、市民登山、駅伝競走大会、卓球大会 など |

○ 事業実績

| 年度 | スポーツ教室 | 延べ参加人数 | スポーツ・レクリエーション普及事業 | 延べ参加人数 |
|----------|--------|---------|-------------------|----------|
| 平成 29 年度 | 38 教室 | 2,493 人 | 32 事業 | 15,690 人 |
| 平成 30 年度 | 38 教室 | 2,418 人 | 32 事業 | 17,846 人 |
| 令和元年度 | 38 教室 | 2,362 人 | 28 事業 | 13,132 人 |

資料：指定管理に関する事業報告書

しかしながら、アンケート結果では、「実施していることは知っているが参加したことはない」、「実施していることを知らない」と回答した人が、合わせて 75.3%となっています。

参加したことがない人の理由は、「都合が合わない (35.7%)」が最も多く、「スポーツ教室は平日や日中のものが多く、仕事をしていると参加できないことが多い」、「託児ありのスポーツイベントや教室があるといい」などの意見が出ています。また、「興味がない (23.4%)」、「参加したい内容のものがない (9.9%)」という回答も多く見られました。

今後、実施してほしいものは、「小中高生、初心者、高齢者などの段階に応じた教室や行事」、「ヨガ・エアロビクスなどの教室」が上位となりました。

▶ あなたが参加してみたい、あるいは今後実施してほしいスポーツ教室等がありますか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------------------------------|-----|-------|
| 1. 競技スポーツの教室 | 58 | 15.6% |
| 2. ニュースポーツの教室 | 45 | 12.1% |
| 3. ヨガ・エアロビクスなどの教室 | 83 | 22.3% |
| 4. 親子で楽しめるもの | 55 | 14.8% |
| 5. 小中高生、初心者、高齢者などの段階に応じた教室や行事 | 90 | 24.2% |
| 6. 健常者も障がいのある方も一緒に参加できるもの | 27 | 7.3% |
| 7. その他 | 13 | 3.5% |
| 8. 特にない | 113 | 30.4% |
| 無回答 | 18 | 4.8% |

資料：令和2年度「一関市民のスポーツ活動に関するアンケート」

■ 課題 ■

- ・市民ニーズの的確な把握と効果的な周知を図りながら参加しやすい事業を実施し、楽しみながら積極的にスポーツに親しむ環境をつくることが重要です。
- ・働き盛りの世代や子育て世代のスポーツ活動を促進するため、実施の内容や方法を工夫しながら、各種事業を実施することが求められています。

1-4 子どもの体力の現状とスポーツ活動

スポーツ庁が、毎年度、小学5年生及び中学2年生を対象に実施している「全国体力・運動能力等調査」の結果によると、近年、子どもの体力は緩やかに向上しつつあるものの、体力水準が高かった昭和60年頃と比べると低い水準にあります。

令和元年度における調査結果を全国平均と本市の平均で比較すると、小学5年生の女子は全国平均を上回っている種目の方が多い一方で、中学2年生の女子は、全国平均を下回っている種目の方が多くなっています。また、本市における平成26年度と令和元年度の結果を比較すると、小学5年生で、令和元年度の記録が下回っている種目が多くなっています。

体力・運動能力等調査の結果

①「R元年度全国平均」欄の「*印」

→「R元年度一関市平均」の記録を基準として、それを上回っている種目

②「H26年度一関市平均」欄の「◆印」

→「R元年度一関市平均」の記録を基準として、それを上回っている種目

※中学2年生の「8 ハンドボール投げ」の記録については、H26年度では「ソフトボール投げ」の記録となっているため、比較対象から外している。

| 小学5年生 | | 男子 | | | 女子 | | |
|-------|---------------|--------------|---------------|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 種目 | | R元年度 全国平均 | R元年度 一関市平均 | H26年度 一関市平均 | R元年度 全国平均 | R元年度 一関市平均 | H26年度 一関市平均 |
| 1 | 握力 (kg) | 16.37 | 17.40 | ◆17.56 | 16.09 | 17.24 | ◆17.36 |
| 2 | 上体起こし (回) | *19.80 | 19.20 | ◆19.27 | *18.95 | 18.36 | ◆19.05 |
| 3 | 長座体前屈 (cm) | *33.24 | 32.62 | 32.46 | *37.62 | 35.78 | ◆36.40 |
| 4 | 反復横とび (点) | 41.74 | 42.81 | ◆43.28 | 40.14 | 42.44 | 42.12 |
| 5 | 20mシャトルラン (回) | *50.32 | 49.16 | ◆51.22 | 40.80 | 43.02 | ◆43.20 |
| 6 | 50m走 (秒) | *9.42 | 9.59 | ◆9.52 | 9.63 | 9.62 | 9.62 |
| 7 | 立ち幅とび (cm) | 151.47 | 153.43 | 150.79 | 145.70 | 149.69 | 148.28 |
| 8 | ソフトボール投げ (m) | 21.60 | 23.11 | ◆24.43 | 13.59 | 15.83 | ◆16.61 |

| 中学2年生 | | 男子 | | | 女子 | | |
|-------|---------------|--------------|---------------|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 種目 | | R元年度 全国平均 | R元年度 一関市平均 | H26年度 一関市平均 | R元年度 全国平均 | R元年度 一関市平均 | H26年度 一関市平均 |
| 1 | 握力 (kg) | 28.64 | 30.98 | ◆31.94 | 23.74 | 25.40 | ◆25.55 |
| 2 | 上体起こし (回) | *26.85 | 25.56 | ◆27.65 | *23.58 | 22.27 | ◆22.80 |
| 3 | 長座体前屈 (cm) | 43.43 | 44.18 | 43.64 | *46.29 | 45.38 | 44.71 |
| 4 | 反復横とび (点) | *51.87 | 51.14 | ◆51.96 | *47.25 | 47.08 | 45.91 |
| 5 | 20mシャトルラン (回) | *83.13 | 80.24 | ◆85.84 | *57.98 | 56.10 | ◆59.53 |
| 6 | 50m走 (秒) | 8.02 | 7.93 | 7.97 | 8.81 | 8.78 | 9.00 |
| 7 | 立ち幅とび (cm) | 195.02 | 197.23 | 197.01 | *169.71 | 167.67 | 165.89 |
| 8 | ソフトボール投げ (m) | *20.35 | 20.22 | - | 12.87 | 13.26 | - |

資料：スポーツ庁 全国体力・運動能力等調査結果、一関市教育委員会

子どものスポーツ活動の場は、学校体育、学校教育の一環としての運動部活動、スポーツ少年団活動、民間のクラブチームなどに所属して行う活動、楽しむことを主として仲間同士で行う活動などがあります。

このうちスポーツ少年団は、地域を基盤とする子どもの社会活動として、スポーツを通じて体と心の健全育成を図っています。本市では、令和2年度現在、126の団体で2,117名の団員が様々な競技に取り組んでいますが、団員数は年々減少傾向にあり、合同チームを編成して競技に取り組んでいる団体も出てきています。

| スポーツ少年団 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 団体数 | 135団体 | 132団体 | 134団体 | 126団体 |
| 団員数 | 2,680人 | 2,530人 | 2,420人 | 2,117人 |

一関市教育委員会の調べでは、令和元年度における肥満傾向児童の割合は小学5年生、中学生2年生とも全国平均より高く、小学5年生の方がより高い結果が出ています。

近年、スマートフォンやゲーム機等の普及などにより子どもの生活時間の使い方が大きく変化し、スポーツや外遊びの機会が減少傾向にあります。

また、本市では、少子化などの影響を受け、身近な地域でやりたいスポーツ活動が行えなくなってきており、さらに、小中学校の統合に伴い、これまでの徒歩や自転車での通学がスクールバス等の利用に変わったことなども、体を動かす機会の減少につながっていると考えられます。

■ 課題 ■

- ・子どもの体力・運動能力が以前より低い傾向にあります。成長や発達に必要な体力を高めるため、スポーツに関心を持たせ、親しむ環境づくりを進めることが求められています。
- ・子どもの時期にスポーツの楽しさを知り、体を動かす習慣を身につけることは、その後の継続的なスポーツ活動につながることを期待されることから、幼児期から様々なスポーツを体験する機会の創出が求められています。
- ・人口減少や少子化などの影響で、やりたいスポーツに取り組むことが困難になってきていることから、身近な地域で好きなスポーツを継続的にやる場の創出が求められています。
- ・市体育協会や種目別競技協会などと連携し、スポーツ少年団の課題やニーズを把握しながら活動に対する支援を行うことが必要です。

1-5 高齢者や障がい者のスポーツ活動

(1) 高齢者のスポーツ活動

高齢者のスポーツ活動は、健康づくり、介護予防、地域交流、いきがいづくりなどに重要な役割を果たしており、体力や好みに合ったスポーツを継続的に行うことが大切です。

本市では、スポーツ推進委員が、地域で行われる介護予防教室などでニュースポーツや軽体操の普及実践活動を行い、高齢者の健康増進を図っているほか、市体育協会が市民センターや地域の集会所などで軽体操の実践を行っています。

また、市の健康づくり、高齢者福祉等の担当部署、市民センター、老人クラブ連合会等が、スポーツを通じた健康づくり事業や介護予防事業、世代間交流を促す事業を実施し、高齢者の健康増進などに取り組んでいます。

○ 事業の例

| 実施主体 | 主な実施事業 |
|---------------------|--|
| 市のスポーツ振興の担当部署 | スポーツ推進委員の派遣事業、シルバーニュースポーツ健康増進事業 |
| 市体育協会 | 健康増進・体力向上事業 など |
| 市の健康づくり、高齢者福祉等の担当部署 | 介護予防事業（軽体操、軽運動、レクリエーションなど）、軽運動教室、ウォーキング交流会、軽体操普及推進事業 など |
| 老人クラブ連合会 | いきいきシニアスポーツ大会、グラウンド・ゴルフやゲートボールなどの各種競技大会、運動会などを各地域の事業として開催 |
| 市民センター | 高齢者学級、世代間交流、軽運動や体操教室、各種スポーツ教室、各種スポーツ大会、老人大運動会、地区民運動会、スポーツ体験講座 など |

(2) 障がい者のスポーツ活動

障がい者のスポーツ活動は、社会参加の促進、健康の維持・増進、いきがいづくり、仲間づくりなどにつながり、楽しみながら継続的にスポーツ活動を行える環境づくりが必要です。

本市では、平成30年に一関市障がい者スポーツ協会が発足しました。障がい者のスポーツ活動を推進する市町村レベルでの組織の発足は岩手県内では初めてであり、全国的にもあまり例がない、先駆的な取組となっています。

障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しむ「ユニバーサルスポーツ体験会」や、隣接の宮城県気仙沼市の障がい者スポーツ協会と連携した交流事業を開催するなど、市体育協会などとの連携のもと、障がい者が気軽にスポーツ活動を行える環境づくりに取り組んでいます。

また、市の障がい者福祉の担当部署や市の障がい者交流施設（サン・アビリティーズ一関）では、障がい者の自立や社会参加、体力の増進や交流などを目的とした事業を実施し、障がい者のスポーツ活動を推進しています。

○ 事業の例

| | |
|----------------|--|
| 一関地方ふれあいスポーツ大会 | 障がい者等が、スポーツを通じて体力の維持、地域社会とのふれあいや相互理解を深めることを目的に実施。 |
| 障がい者ふれあい事業 | 障がい者が趣味・創作活動を通じて相互の交流やふれあいを図り、自立と社会参加を促進するために開催する講座において、健康体操教室やペタンク教室を開催。 |
| 障がい者社会参加支援事業 | 障がい者が活動を通じて相互の交流やふれあいを図り、自立と社会参加を促進するため、一関地方ふれあいスポーツ大会の支援のほか、岩手県障がい者スポーツ大会への選手派遣を実施。 |

■ 課題 ■

- ・市のスポーツ振興、健康づくり、高齢者福祉等の担当部署、市体育協会、老人クラブ連合会、市民センター等が連携して、高齢者のスポーツ活動を推進することが必要です。
- ・障がい者のスポーツ活動を広めていくためには、市のスポーツ振興や障がい者福祉の担当部署、市障がい者スポーツ協会、障がい者施設等が連携し、障がい者が主体的にスポーツを行える環境づくりを進めることが必要です。



市民体力測定会



みんなのスポーツ競技会

2 競技スポーツについて

2-1 スポーツ選手や指導者の育成

本市では、これまで、選手の競技力向上とそれを支える指導者の育成などを支援するため、市体育協会などと連携し、全国大会等への出場に対する助成、選手の育成強化に対する支援、スポーツ実技講習会の開催、スポーツ少年団指導者の資格取得に対する支援などを行ってきました。

全国大会などでの活躍や経験は、選手のモチベーションを上げ、さらなる競技力向上につながるとともに、共に活動する仲間などへの刺激や目標となり、競技の普及や意欲の向上につながります。

また、本市にゆかりのある選手やチームが全国や世界を舞台に活躍することは、市民の喜びとなり地域に活力を生み出すほか、夢や憧れとなってスポーツへの関心や参加意欲につながっています。

○ 主な事業

| | |
|--------------------|---|
| 全国体育大会等の出場に対する支援事業 | 東北規模以上の競技大会に出場する小中学生及び高校生に対する遠征費の助成 |
| トップアスリート育成強化支援事業 | 本市を拠点に全国大会や国際大会に出場し活躍するトップアスリートの育成強化に対する支援 |
| スポーツ実技講習会開催事業 | 著名な指導者等を招へいし、小中学生などを対象に行う実技指導等 |
| スポーツ合宿誘致事業 | 市外の大学等のスポーツ部の合宿誘致 (合宿期間中に行う市内の児童生徒への実技指導等) |
| 選手の育成支援事業 | 市体育協会と連携した、種目別競技協会が実施する競技力向上のための事業に対する支援 |
| 指導者育成支援事業 | 市体育協会と連携した、種目別競技協会等が実施する指導者育成事業に対する支援 |
| スポーツ少年団指導者育成事業 | 市体育協会と連携した、スポーツ少年団登録に必要なスタートコーチ資格取得に対する助成 |

2-2 スポーツ大会の開催・支援

本市では、全国から多くのランナーが参加する「一関国際ハーフマラソン大会」、早稲田大学駅伝競走部の市内合宿を契機に始まった「花泉マラソン大会『瀬古利彦杯』」を毎年開催するとともに、強豪チームが参加する、東日本規模の「東日本高等学校選抜女子バレーボール大会」及び「JABA一関市長旗争奪クラブ野球大会」などの開催支援を通じて、市民のスポーツ参加の推進と競技力向上を図ってきました。

また、市内での宿泊を伴う東北規模以上の学会、会議、大会等の開催を支援しており、スポーツ大会は、毎年3～4大会が開催されています。

さらに、平成24年度から8年連続で開催されている「日本女子ソフトボール1部リーグ」などの国内トップレベルの大会の誘致を支援し、市民の「みるスポーツ」の機会創出に努めてきました。

市内でのスポーツ大会の開催は、選手やスタッフとしての関わり、大会観戦などを通じて競技力やスポーツへの意欲の向上が図られるほか、スポーツ施設の有効活用、交流人口の増加による地域の活性化にもつながっています。

また、スポーツ観戦は、応援を通じた一体感、緊張感、勝利の喜びや感動など、観ている人に心に響く様々な感情をもたらし、スポーツへの関心を高めるほか、子どもたちにとっては夢や憧れにもつながります。

| 大会名 | 参加規模等 |
|---|-----------------------------------|
| 一関国際ハーフマラソン大会（毎年開催） | R 1年度参加者数：3,141人 |
| 花泉マラソン大会「瀬古利彦杯」（毎年開催） | R 1年度参加者数：773人 |
| 東日本高等学校選抜女子バレーボール大会（毎年開催） | 3日間開催、16チーム参加 |
| J A B A一関市長旗争奪クラブ野球大会（毎年開催） | 2日間開催、16チーム参加 |
| 日本女子ソフトボール1部リーグ （R 1年度現在で8年連続開催） | 2～3日間で4～9試合開催 R 1年度入場者数 2,888人 |
| 東日本ブロッククラブバレーボール選手権大会・東北クラブバレーボール選手権大会（H29年度開催） | 3日間開催、40チーム参加 |

2-3 競技スポーツの現状と課題（懇談会より）

今後の競技スポーツの推進にあたり、市内のスポーツ関係団体における現状や課題を把握するため、令和2年度に懇談会を開催し、現在行っている事業や活動における現状、また、今後を見据えた課題等について多くの意見等が出されました。

- 開催日・・・令和2年10月27日（火）、29日（木）
- 対象・・・一関市体育協会、種目別競技協会、総合型地域スポーツクラブ、小・中学校体育連盟、高等学校体育連盟、スポーツ指導者協議会

<懇談会の内容のまとめ>

(1) 競技力の向上や指導者育成に向けて行っている活動

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・著名な指導者の招へい、ワークショップ的な指導者育成講習会等の開催 ・各種大会の開催を通じた役員の育成、運営力の強化、競技力の向上の推進 ・競技の普及に向けた体験教室やスクールの開催 ・障がい者を対象に市内を巡回して行うニュースポーツの体験会の実施 ・幼稚園や保育園への有資格指導者の派遣による、幼少期からのスポーツ体験の推進 ・市内等で開催される大会での審判等の運営協力 | など |
|---|----|

(2) 競技スポーツの現状

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や少子高齢化が進み、市全体として競技人口が減少している。 ・少子化の影響などで部活動の競技種目が減少し、やりたいスポーツに取り組みなくなっている。また、種目によっては、地域内だけではスポ少などの活動が難しくなっており、地域を超えた活動が進んできている。 ・指導スタッフの確保が難しく、競技力強化を目的とした教室などの開催が困難になっている。 ・指導者が不足しているほか、資質やコーチング技術の向上が必要となっている。 ・競技人口が少ないため、指導者になる人がいない。 | など |
|--|----|

(3) 課題や意見として出されたもの

| |
|--|
| ① 競技人口の減少について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化、若い世代の流出、進学や就職などのライフステージの変化などに伴い競技離れが進む中、特に若年層を中心とした競技人口をいかにして確保していくかが課題。 ・ 学校や学区単位の競技活動は、今後ますます困難になることが予想される。広域的にやりたいスポーツに取り組める場づくり、仕組みづくりが必要なのではないか（例えば、総合型地域スポーツクラブの設立やその支援など）。 ・ 幼少期から様々なスポーツを体験させ、スポーツに興味を持たせながら、やりたいスポーツに導くのがいいのではないかと（学校や競技協会との連携が必要）。 ・ 高齢者や障がい者に対するスポーツの推進も必要である。 など |
| ② 競技力の向上や指導者育成について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ トップアスリートからの指導機会や、トップリーグなどの観戦を通じて高いレベルの技術に触れる機会は、子どもたちの良い刺激になり、意欲や競技力の向上につながる。 ・ 大規模大会の開催を通じて、役員の育成や運営力の強化及び選手の競技力の強化を図ることができる。 ・ 競技活動を支える指導者の確保や育成、資質向上を図るための支援が必要である。 など |
| ③ 施設の利用について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬場でもスポーツ活動を安心して行えるよう、暖房設備や器具を充実させてほしい。 など |

■ 課題 ■

| |
|--|
| <p><競技人口の減少について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種目別競技協会やスポーツ少年団などの活動支援を通じて市民の競技スポーツの活動を支え、また、減少傾向にある競技人口の拡大に取り組むことが必要です。 ・ 総合型地域スポーツクラブの設立や支援を行い、地域の枠にとらわれず、市民が継続したスポーツ活動を行うための環境づくりが求められています。 <p><競技力の強化や指導者育成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会等への出場や選手の技術強化等に対する支援が求められています。 ・ 指導者や審判員等、市民のスポーツ活動を支える人材の育成を図るため、講習会の開催や資格取得に対する支援などが求められています。 ・ スポーツ大会を開催するためには、スタッフの確保や財政的な負担が課題となっています。 <p><スポーツ観戦の機会の創出について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トップレベルの大会の観戦について市民の関心は高く、また、市内の競技者にとって良い刺激となり、競技力の向上が期待されることから、「みるスポーツ」の機会創出が求められています。 |
|--|

3 スポーツ施設について

3-1 市のスポーツ施設の現状

本市には、令和2年度現在で66のスポーツ施設があります。そのほとんどは合併前の旧市町村で整備した施設であり、市民の日常のスポーツ活動の場として幅広い年齢層で利用されているほか、市民レベルの大会から全国大会まで、様々な規模の競技大会にも活用されています。

また、本市では指定管理者制度を導入しており、スポーツ施設では57施設を市体育協会、2施設（黄金山キャンプ場、飛ヶ森キャンプ場）を地域協働体、1施設（藤沢スポーツランド）を藤沢町モータースポーツ協会に管理委託して、指定管理者が持つ専門性や弾力性、柔軟性という特性を活かし、市民ニーズに対応した施設の効率的、効果的な管理運営に努めています。

| 地域 | スポーツ施設 (令和2年4月1日現在) |
|--------------|--|
| 一関 【14施設】 | 一関市総合体育館、東口体育館、一関運動公園野球場／テニスコート／陸上競技場／多目的広場／ソフトボール場、一関武道館、東台野球場、萩荘サッカー場、一関水泳プール、一関サッカー・ラグビー場、尾花が森キャンプ場、一関市産業教養文化体育施設 |
| 花泉 【9施設】 | 花泉体育館、花泉第二体育館、花泉弓道場、花泉テニスコート、花泉水泳プール、花泉運動公園野球場／テニスコート／多目的競技場／キャンプ場 |
| 大東 【9施設】 | 大東体育館、大東野球場、大東グラウンド、伊勢館公園野球場（直営）、伊勢館公園テニスコート（直営）、春日公園テニスコート（直営）、春日グラウンド（直営）、大東勤労者体育センター（直営）、大東バレーボール記念館（直営） |
| 千厩 【11施設】 | 千厩体育館、千厩武道館、千厩野球場、千厩多目的グラウンドテニスコート／ソフトボール場／サッカー場／運動広場、清田テニスコート、千厩アイスアリーナ、黄金山キャンプ場、飛ヶ森キャンプ場 |
| 東山 【8施設】 | 東山総合体育館、東山球場、東山テニスコート、東山多目的グラウンド、東山B & G海洋センター、唐梅館パークゴルフ場、唐梅館総合公園クラブハウスえぼっく、東山農村勤労福祉センター |
| 室根 【3施設】 | 室根体育館、室根テニスコート、室根野球場 |
| 川崎 【3施設】 | 川崎体育センター、川崎テニスコート、川崎運動広場 |
| 藤沢 【9施設】 | 藤沢B & G海洋センター、ニコニコドーム、藤沢ニコニコヘルス、すぱーく藤沢、藤沢体育館、藤沢テニスコート、藤沢運動広場、藤沢スポーツプラザ、藤沢スポーツランド |

【スポーツ施設の利用実績】

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|----------|----------|----------|
| 利用件数 | 102,349件 | 101,854件 | 97,194件 |
| 利用人数 | 893,458人 | 889,892人 | 754,406人 |

資料：一関市スポーツ振興課

アンケート結果では、市民が主に利用するスポーツ施設は、体育館が最も多い26.6%となっています。しかしながら、それを上回る55.6%の人が、市のスポーツ施設を「利用していない」と回答しています。

現在、市のスポーツ施設はインターネットを活用した利用予約システムを導入し、利用者の利便性と施設の利用促進を図っていますが、アンケート結果では64%の人が予約システムを知らなかったと回答しており、また、システムの利用者からも利便性の向上を求める声が寄せられています。

市民のスポーツ活動の推進にあたっては、その活動の場としてのスポーツ施設の利用促進も併せて取り組むことが必要であり、市民のニーズを把握しながら施設内容の充実を図るとともに、施設の予約や利用についての利便性を向上させ、利用促進を図ることが重要です。

また、施設の維持管理については、スポーツ施設を含め市全体として公共施設の老朽化が進んでおり、各施設の利用状況や収支状況、また、人口減少の進行や財政計画などの観点から、全市的な公共施設の見直しの取組が進められています。この方向性を踏まえながら、利用者が安全で安心してスポーツ活動を楽しめるよう、適切な施設管理を行うことが必要です。

3-2 学校体育施設の活用

スポーツ施設以外にも、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び子供の遊び場の確保のため、市立小学校及び中学校の体育施設（校庭及び体育館）を夜間及び休日に開放しており、年間を通して多くの市民に利用されています。

○ 利用実績

| | | 小学校 (28校) | 中学校 (16校) | 計 |
|--------|----|-----------|-----------|---------|
| 平成30年度 | 件数 | 8,912 | 6,612 | 15,524 |
| | 人数 | 172,506 | 102,449 | 274,955 |
| | 時間 | 23,795 | 14,130 | 37,925 |
| 令和元年度 | 件数 | 9,633 | 7,299 | 16,932 |
| | 人数 | 181,651 | 108,857 | 290,508 |
| | 時間 | 26,020 | 14,777 | 40,797 |

資料：一関市教育委員会

3-3 市のスポーツ施設への要望

市のスポーツ施設の満足度に対するアンケート結果では、37.3%の人が「施設は十分に備わっており、満足している」又は「施設は比較的備わっており、おおむね満足している」と回答しています。

一方で、13.7%の人が「十分な施設が備わっておらず、満足していない」と回答しており、年間を通じて継続的かつ快適にスポーツ活動が行えるよう、トレーニング施設や屋内プールの整備、屋内施設への冷暖房設備の完備などが求められています。

| 充実してほしい スポーツ施設 | その内容 |
|-------------------|--|
| トレーニング施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の数が少ない ・身近な地域にないため行けない ・設備や器具を充実させてほしい ・健康管理機器を設置してほしい ・機器の使い方などを指導してくれる人がいてほしい |
| プール (屋内プール) | <ul style="list-style-type: none"> ・屋内プールがほしい ・身近な地域にプールがほしい ・仕事の合間などいろいろな時間で利用したい ・健康維持のため、屋内プールで水中ウォーキングやスイミングを行いたい（高齢者でも利用しやすい） |
| 体育館 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設が古いので建て替えてほしい ・もっと気軽に利用したい ・無料貸し出しをしてほしい ・冷暖房を完備してほしい ・トランポリンができる施設があるといい ・身近な施設でバウンドテニスができるといい ・大会を行っている体育館の駐車スペースが少ない |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・野球場を収容人数の多い施設にしてほしい ・屋外施設は施設管理者の目が届き安心して使えるようにしてほしい <p><その他充実してほしい施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合のスポーツ施設 ・スケートボードやインラインスケートなどの常設パーク ・家族で何でもできるスポーツ公園 ・自転車で自由に走れる場所 ・ウォーキングやランニングのコースがある公園や広場 ・身近な地域に屋根付きのゲートボールコート ・エアロビクスなどができるスタジオ |

資料：令和2年度「一関市民のスポーツ活動に関するアンケート」

■ 課題 ■

- ・スポーツ施設の利用は、団体だけでなく、個人、家族、仲間同士などの少人数でも気軽に利用できる環境を整えることが必要です。
- ・施設や備品、用具等の有効活用を図るため、各施設が備えている競技コート数、備品、ニュースポーツの用具など、スポーツ施設の設備の情報を市民に提供することが必要です。
- ・スポーツ施設の老朽化などが進む中、既存施設の保有や維持管理については市民ニーズを把握しながら適切に行っていくとともに、市全体としての公共施設の管理の方向性に合わせて進めていく必要があります。
- ・学校体育施設は身近にスポーツ活動が行える場所であることから、市民のスポーツ活動の推進のため、今後も教育委員会と連携しながら施設の活用を進めることが必要です。



一関市総合体育館



屋根テニスコート（屋内）

4 スポーツを通じた交流について

スポーツ大会への参加や観戦を目的として開催地を訪れた際に、地域資源とスポーツを掛け合わせて観光を楽しむ「スポーツツーリズム」の取組が全国各地で進められてきており、交流人口の増加につながっています。

これまで、「一関国際ハーフマラソン大会」の開催、「日本女子ソフトボールリーグ」の大会誘致などを通じて、全国から多くの参加者や観戦者が本市を訪れています。

また、県及び県内の自治体等で構成する「いわてスポーツコミッション」と連携したスポーツ合宿の誘致に取り組み、さらに、地域と学校の交流促進により合宿の数は年々増加傾向にあります。

今後は、これらの取組と併せて、市、観光協会、商工会議所、競技協会などが密に連携し、情報共有を図る機会を持ちながら、本市の魅力ある地域資源を活かしたスポーツツーリズムを推進することが重要です。

○ 一関市観光協会及び一関商工会議所から出された意見等

- ・市内で行われるスポーツ大会、スポーツイベント、スポーツ合宿についての情報や、大会開催及びスポーツ合宿に対する市の補助金制度などについて、市、観光協会、商工会議所等が情報共有する場があるといいと思う。
- ・例えば、マラソン大会でランナーが重視するのは、沿道の応援などの「気持ち」の部分である。地元の人が大会にどの程度関われるかによって、来る人の印象が変わるのではないかと。
- ・合宿は滞在期間が長いので経済効果が高く、一度合宿に来てもらおうと先生のネットワークで広がることも多い。また、パンフレットによるスポーツ施設や宿泊施設のPRと併せて、これまでの合宿の実績も周知することでさらに効果が上がると考える。

■ 課題 ■

- ・スポーツツーリズムにより交流人口を増やすことは地域の活性化につながることから、地域の特性を活かした取組を進める必要があります。
- ・スポーツ及び観光に関わる機関・団体等と連携を図り、情報共有と協議の場を持ちながら、効果的な取組を進める必要があります。



一関国際ハーフマラソン大会

5 市のスポーツの推進に対するニーズ

5-1 市民が期待するスポーツの推進

アンケート結果によると、地域のスポーツ活動に期待する効果は、「健康づくりの推進」が54.3%と最も多く、次いで「地域コミュニティの活性化（33.1%）」、「余暇時間の有効活用（28.2%）」の順となっています。

また、今後の市のスポーツ推進に必要なと思う施策は、下表にあるとおり、「市民が気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催（47.6%）」が最も多く、次いで「子ども、社会人、高齢者など、各世代に合ったスポーツ活動の推進（38.2%）」、「公共スポーツ施設の整備・充実（23.7%）」の順となっています。

このほか、「プロスポーツや国際大会の観戦など『みるスポーツ』機会の創出（22.0%）」、「トップアスリートとの交流や実技指導を受ける機会（20.4%）」といった、トップレベルのスポーツ技術に間近に触れることへの関心も高くなっています。

▶あなたは、今後一関市のスポーツを推進するために何が必要だと思いますか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 市民が気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催 | 177 | 47.6% |
| 子ども、社会人、高齢者など、各世代に合ったスポーツ活動の推進 | 142 | 38.2% |
| 公共スポーツ施設の整備・充実 | 88 | 23.7% |
| 誰もが気軽に実践できるニュースポーツの普及推進 | 83 | 22.3% |
| プロスポーツや国際大会の観戦など「みるスポーツ」機会の創出 | 82 | 22.0% |
| トップアスリートとの交流や実技指導を受ける機会 | 76 | 20.4% |
| スポーツ団体や地域でのスポーツ活動への支援 | 61 | 16.4% |
| スポーツ活動に関する情報提供の充実 | 55 | 14.8% |
| スポーツ大会誘致による交流拡大や競技スポーツの推進 | 44 | 11.8% |
| スポーツ指導者や審判員の育成 | 31 | 8.3% |
| 健常者と障がい者が一緒に行うスポーツ活動の推進 | 28 | 7.5% |
| ボランティアによるスポーツの指導やスポーツイベントの運営協力の推進 | 28 | 7.5% |
| 総合型地域スポーツクラブの推進 | 21 | 5.6% |
| わからない | 42 | 11.3% |
| その他 | 6 | 1.6% |
| 無回答 | 3 | 0.8% |

資料：令和2年度「一関市民のスポーツ活動に関するアンケート」

5-2 ワークショップでの意見等

今後の市のスポーツの推進にあたり、広く意見等を聴取するためワークショップを開催し、多くの提案や意見等をいただきました。

- 開催日・・・11月2日(月)、4日(水)、10日(火)、13日(金)
- 対象・・・地区体育協会、スポーツ少年団関係者、小・中学校PTA、地域協働体
- 参加者によりまとめられた意見

テーマ1 生涯スポーツの推進

- ・小さい頃から様々なスポーツを経験させて、競技の選択の幅を持たせるのがいいのではないか。
- ・スポーツ推進委員の活動の場を広げ、生涯スポーツの意味や運動の大切さなどを伝える活動などしてほしい。
- ・定年後、地域との関わりが体を動かすきっかけになるかもしれない。そのために、地域行事への参加の声かけをするリーダーが必要ではないか。
- ・地域で、幅広い年代と一緒にスポーツに取り組めるような事業を実施したらいいのではないか(子どもの参加も促せるようなもの)。
- ・子どもがやりたいスポーツができるような公園利用を進めたらいいのではないか。
- ・年齢に応じて様々なスポーツ体験を行える場を提供してほしい。3か月程度体験し、その受講者を中心としたサークルの立ち上げへのサポートがあるといいと思う。
- ・同レベルの人同士で楽しくスポーツが行える場づくりが必要ではないか。
- ・地域行事のように、ある程度の人数が集まらないと成り立たないものは、若干の強制力を持って参加者や応援団を集めることも時には必要ではないか。
- ・子どもの時からスポーツに触れないと、その後のスポーツ活動につながらないのではないか。
- ・スポーツ推進委員や競技団体などが学校で出前教室を行い、大人も子どもも気軽にスポーツ体験をして興味につなげるような取組をしたらいいのではないか。

テーマ2 競技スポーツの推進

- ・指導者が学校を巡回する仕組みをつくり、小中学生にスポーツ体験の場を提供する取組をしたらいいのではないか。
- ・審判員の支援体制の充実を図ることが必要ではないか(大会が多い、経費負担の軽減)。
- ・部活動とクラブチーム等での活動を選択制とし、どちらの活動も同等とする仕組みづくりが必要ではないか。また、クラブチームの立ち上げや運営への支援をしてほしい。
- ・スポーツ選手との交流で、子どもが夢や目標を持つきっかけづくりをしてほしい。
- ・スポーツが楽しいと思える指導ができる指導者の養成が必要ではないか。
- ・登録料など多くの経費がかかる大人のスポーツ競技者にも支援が必要ではないか。
- ・小中学生や高校生の大会等が地域の行事と重なると子どもたちが行事に出て来ないので、大会等の開催時期を調整してほしい。
- ・指導者や審判の資格取得に対する支援が必要ではないか(講習会の誘致や経費補助)。
- ・地元クラブチームをつくり、部活動との選択制にするのがいいのではないか。中体連等の大会にもクラブチームが出場できるような体制づくりも併せて必要である。

テーマ3 スポーツ施設の利用促進

- ・ 公共施設予約システムの改善や仕組みづくりが必要ではないか。
 市内の人を優先させる、高齢者も含めた利便性・簡易性の向上、予約の平等性の確保、過度な競争率の解消、施設周辺住民の受付時間を早める など
- ・ 年数回程度、スポーツ施設の無料開放をして、競技の指導を受けられるなどの体制づくりもしてほしい。
- ・ 各施設の競技コート数や設備、利用できる備品などについての情報を一覧化して発信してほしい。
- ・ 施設整備の計画を立てて、核となる施設を計画的に整備したらいいのではないか。
- ・ e スポーツなど、これからの時代に合わせた施設整備が必要ではないか。



川崎町民体育祭



スポーツ実技講習会

(写真は平成 29 年度開催のNECレッドロケッツバレーボール教室)



東口体育館（令和2年度供用開始）



一関市のスポーツを考えるワークショップ
 （令和2年度開催）

6 現行計画の主な成果のまとめ

(1) 生涯スポーツの振興

① スポーツ活動推進体制の整備充実

- ・市体育協会の運営及び活動を支援し、連携を図りながら各種スポーツ施策を推進するとともに、種目別競技協会、地区体育協会、スポーツ少年団の育成及び活動支援を行った。
- ・スポーツ少年団活動へのアンケート調査や意見交換会での意見等を踏まえ、平成 30 年度に指導者資格の取得に対する助成制度を創設した（30 年度は 23 人、令和元年度は 27 人が資格を取得。）。

② スポーツ・レクリエーション指導者の養成・確保

- ・スポーツ推進委員を県協議会などが開催する研修会等へ派遣したほか、市協議会による自主研修会を開催し、地域スポーツにおける指導者としての資質向上を図った。
- ・市体育協会を通じて指導者研修会等を開催し、競技スポーツの指導者育成に努めた。

③ スポーツ・レクリエーションの実践活動の促進

- ・市体育協会等に委託し、各種スポーツ教室やスポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民のスポーツ活動を推進した。
- ・スポーツ推進委員を P T A 行事や地域事業に派遣して、ニュースポーツの普及実践活動を行った。また、市民体力測定会を実施し、体力の把握と継続的な運動の動機づけを図った。
- ・市及び市体育協会のホームページや市の広報誌を活用し、広く事業等の周知を図った。平成 29 年度には市ホームページのスポーツ関連ページの見直しを行い、情報量の拡大と内容の充実を図った。

④ 子どもや高齢者のスポーツ活動の推進

- ・学校体育、部活動、スポーツ少年団活動などを通じて子どものスポーツ活動の推進と体力の向上を図った。また、小学 5 年生を対象にトップアスリートなどが授業を行う「夢の教室」を開催し、夢や目標を持つことの大切さなどについて考える機会を創出した。
- ・スポーツ推進委員が介護予防教室などでニュースポーツ等の普及実践活動を行う事業を展開した。また、市の健康づくりや高齢者福祉等の担当部署、市民センター、市体育協会、老人クラブ連合会などが様々な事業を実施し、高齢者のスポーツ活動を推進した。

(2) 競技スポーツの推進

① 競技力向上

- ・全国大会等に出場する小中高生や、県民体育大会に出場する選手等の遠征費を助成した。
- ・平成 28 年度に、それまで開催していた「スポーツ講演会」を児童生徒を対象とした「スポーツ実技講習会」の開催に見直し、現役スポーツ選手などによる実技指導を通じて競技力の向上を図った。

- ・市外の高校や大学が本市で行うスポーツ合宿の誘致を推進し、合宿時に市内の中学生などに対して行われる実技指導等を通じて、競技力の向上を図った（平成 29 年度は 8 団体、30 年度は延べ 14 団体、令和元年度は延べ 13 団体が合宿を実施。）。
- ・令和 2 年度に、地域でスポーツ合宿の受け入れに取り組み、環境整備などの支援を行う団体等に対する助成制度を創設し、スポーツ合宿のさらなる誘致と交流人口の拡大に取り組んだ。

② 選手の育成強化、指導者育成

- ・市体育協会が実施するスポーツ講座等の開催事業や、種目別競技協会が実施する選手強化や指導者育成のための各種事業に対する支援を行った。
- ・平成 29 年度に「トップアスリート育成強化支援事業」を創設し、本市を拠点に全国大会や国際大会での活躍が見込まれる中学生以上の選手の技術強化等の活動を支援した（29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で、延べ 14 人の選手の活動を支援した。）。

③ 各種大会の開催・支援

- ・毎年 9 月に開催している「一関国際ハーフマラソン大会」には、全国各地から多くのランナーの参加があり、参加者数は年々増加している。
- ・令和元年度に 30 回目の開催となった「花泉マラソン『瀬古利彦杯』」は、オリンピック元日本代表の瀬古利彦氏の名を冠した国内唯一の大会となっている。
- ・平成 24 年度から令和元年度まで「日本女子ソフトボールリーグ 1 部」が本市で開催され、市民が、日本代表選手などが出場するトップレベルの大会を観戦する貴重な機会となった。
- ・「東日本高等学校選抜女子バレーボール大会」、「J A B A 一関市長旗争奪クラブ野球大会」の開催を支援し、地元チームの競技力向上やスポーツを通じた交流人口の拡大を図った。
- ・市内での宿泊を伴う東北規模以上のスポーツ大会の開催を支援し、交流人口の拡大やスポーツ施設の利用促進を図った。

④ 「希望郷いわて国体」、「希望郷いわて大会」に向けた取組

- ・いわて国体及びいわて大会の開催に向け、市民総参加のクリーンアップ活動や花いっぱい運動などを実施し、全国から訪れる選手、役員、観戦者の皆様に「おもてなし」の心と復興支援への感謝の気持ちで迎えるとともに、円滑な大会運営を行った。

(3) スポーツ施設の利用促進

- ・合併前の旧市町村で整備した多くのスポーツ施設を保有し、老朽化も進む中、市全体の公共施設管理の方向性を踏まえながら安心・安全な施設の管理や運営に努めた。
- ・地元企業が整備した体育館を有効活用して市民の新たなスポーツ活動の場として整備し、令和 2 年度に供用を開始した。
- ・インターネットを活用した公共施設予約システムの運用によりスポーツ施設の利用予約の利便性を図るとともに、利用促進を図った。
- ・市民の身近にある学校体育施設を市民に開放し、市民のスポーツ活動の促進に努めた。

第3章 基本理念と基本目標

- 1 基本理念
- 2 基本目標

第3章 基本理念と基本目標

1 基本理念

スポーツは、体を動かすという人間の身体的・精神的な欲求に応えるものであり、スポーツを日常の生活に位置づけ、生涯を通じて親しむことは、人生をより楽しく、健康で、活力に満ちたものとするために極めて大きな意義を有しています。

そのため、市民誰もがスポーツを身近に感じて興味や関心を持ち、それぞれの年齢や体力、目的、ライフスタイルなどに応じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境を整えることが重要であり、また、一人ひとりが心身ともに健康であることは、元気で活力あるまちづくりにもつながります。

そこで、本市のスポーツ推進を図るための基本理念を

誰もがスポーツを楽しみ 健康でいきいきとした生活の実現

とし、市民一人ひとりがスポーツを日常の生活に取り入れ、地域と関わりを持ちながらいきいきとした毎日を送る、明るく活力に満ちたまちづくりを目指します。

2 基本目標

基本理念を実現するため、次の5つを基本目標とし、これに基づいた施策を展開します。

| | |
|---------|---------------|
| 【基本目標1】 | 生涯を通じたスポーツの推進 |
| 【基本目標2】 | 競技スポーツの推進 |
| 【基本目標3】 | スポーツ団体等の育成・支援 |
| 【基本目標4】 | スポーツ交流の推進 |
| 【基本目標5】 | スポーツ施設の利用促進 |

第4章 目標達成に向けたプロジェクト

- 1 施策の体系
- 2 重点プロジェクト
- 3 SDGsを踏まえた取組
- 4 スポーツ推進施策の展開

第4章 目標達成に向けたプロジェクト

1 施策の体系



2 重点プロジェクト

本計画の基本理念や基本目標の達成に向けて、特に重点的に取り組む3つの基本施策を「重点プロジェクト」として掲げます。

重点プロジェクト1

スポーツに親しむ機会の創出

市民のスポーツ活動を推進するため、市民ニーズの把握を行いながら、子どもから大人まで気軽にスポーツに親しめる機会をつくります。

重点プロジェクト2

競技力の向上

競技スポーツの推進を図るため、全国大会などで活躍する競技者の育成を支援します。また、選手の競技活動を支え、競技力向上に重要な役割を果たす指導者の育成を支援します。

重点プロジェクト3

スポーツツーリズムの推進

地域資源を有効活用したスポーツツーリズムの推進に取り組み、スポーツの振興とスポーツを通じた交流人口の拡大、観光の振興、地域経済の活性化を図ります。

3 SDGsを踏まえた取組

SDGs (Sustainable Development Goals) は「持続可能な開発目標」の略称で、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標です。2030年までに達成する17のゴール(目標)で構成されています。

本市においても、SDGsの理念を踏まえ各種施策に取り組んでおり、本計画の推進にあたってはSDGsの視点を意識して施策を展開します。



4 スポーツ推進施策の展開

1) 生涯を通じたスポーツの推進



生涯の各時期において、興味・関心、技術、目的、体力等に応じてスポーツに取り組むことは、楽しさや喜びが得られるとともに、心身の健康増進やいきがいくりにつながります。

市民の誰もが身近な地域で日常生活の中にスポーツを取り入れながら、生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、多彩なスポーツ活動に参加する機会を創出します。

【施策】

(1) スポーツに親しむ機会の創出

市民の健康志向の高まりや高齢化社会の進展などに伴い、体力向上や健康増進を目的としたスポーツ活動などに対するニーズは、今後ますます増加するものと予想されます。

アンケートにより市民のスポーツ活動の現状やニーズの把握を行いながら、スポーツ関係団体、市民センター、地域協働体等と連携し、ライフスタイルや体力、好みなどに応じた参加しやすいスポーツ教室やスポーツイベントなどを実施し、スポーツに親しむ機会の創出及びスポーツを通じた地域づくりを促進します。

また、市の広報誌、ホームページ、フェイスブック等の様々な媒体を活用し、多くの市民にスポーツに関する様々な情報を提供することに努めます。

さらに、市民の「みるスポーツ」を推進するため、プロスポーツ等の大会誘致に対する支援などを通じて、市民がレベルの高い試合や大会を観戦する機会の創出に取り組みます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|--------------------|---|
| 1 | スポーツ・レクリエーション事業の実施 | ・市民体育大会など、幅広い年齢層で参加できるスポーツ大会やスポーツ・レクリエーション事業を実施する |
| 2 | スポーツ推進委員派遣事業の実施 | ・PTA、地域事業、老人クラブ等が行うスポーツ関連事業に、スポーツ推進委員を派遣する |
| 3 | ニュースポーツの普及促進 | ・スポーツ推進委員の派遣事業などを通じて、誰もが手軽に楽しめる各種ニュースポーツの普及促進に努める |
| 4 | スポーツ教室の開催 | ・市体育協会に委託し、市民ニーズに対応した各種スポーツ教室を開催する |
| 5 | 子どものスポーツ活動機会の充実 | ・種目別競技協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携を図りながら、幼児期からスポーツに親しめる場と機会を提供する |
| 6 | 市民センター事業との連携 | ・市民センターが実施する事業と連携し、スポーツ・レクリエーション活動の機会を提供する |
| 7 | スポーツ関連情報の提供 | ・市広報誌、市及び市体育協会のホームページなどを活用し、スポーツに関する様々な情報を提供する |
| 8 | 市民アンケートの実施 | ・スポーツ活動に係る市民アンケートを実施し、現状や課題、ニーズを把握する |
| 9 | スポーツ施設の開放 | ・スポーツ施設の開放日の設定などにより、スポーツを始める機会の創出と、施設の周知及び利用促進を図る |

| | | |
|----|----------------|---|
| 10 | 「みるスポーツ」の機会の創出 | ・種目別競技協会等が行うプロスポーツチーム等の大会誘致に対する支援などを通じて、市民の「みるスポーツ」の機会の創出に努める |
|----|----------------|---|

(2) 子どものスポーツ活動機会の充実

幼児期からスポーツに親しむことは、心身のバランスの取れた発育・発達に不可欠であり、成長期の基礎的体力を高めるうえでも重要です。また、幼児期に体を動かすことの楽しさを知ることは、その後の継続的なスポーツ活動につながることを期待されます。

種目別競技協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携を図るとともに、幼稚園や学校等との連携体制の創出に努め、幼児期から積極的に体を動かすための環境の整備を促進するとともに、スポーツに親しむ場と機会の創出に取り組みます。

さらに、地域の特徴を活かしながら、「地域部活動」についての研究と検討に取り組みます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|---------------------|--|
| 1 | 子どものスポーツ活動機会の充実【再掲】 | ・種目別競技協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携を図りながら、幼児期からスポーツに親しめる場と機会を提供する |
| 2 | トップアスリートに触れる機会の創出 | ・小学5年生を対象に、トップアスリートなどが授業を行う「夢の教室」を開催する |
| 3 | スポーツ少年団の活動支援 | ・一関市体育協会や種目別競技協会と連携し、スポーツ少年団の活動を支援する |
| 4 | 市内学校、関係機関等との連携 | ・市内の学校、スポーツ少年団、保育園、幼稚園、民間のスポーツ団体等と、子どものスポーツ活動の推進や事業の展開について話し合う場を設け、連携体制の強化に努める |

※「地域部活動」とは、教師の勤務を要しない日（休日）において地域の活動として行う部活動のことをいう。

(3) 高齢者のスポーツ活動の推進

高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進、いきがづくり、仲間づくり、体力向上などに大きな役割を果たしています。

市のスポーツ振興、健康づくり、高齢者福祉等の担当部署、スポーツ関係団体、市民センター、老人クラブ等が連携し、高齢者が参加しやすいスポーツ教室等の開催に取り組みます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|---------------------|--|
| 1 | スポーツ教室の開催【再掲】 | ・市体育協会に委託し、市民ニーズに対応した各種スポーツ教室を開催する |
| 2 | スポーツ推進委員派遣事業の実施【再掲】 | ・PTA、地域事業、老人クラブが行うスポーツ関連事業にスポーツ推進委員を派遣する |
| 3 | 健康体操や軽運動等の取組の推進 | ・高齢者が日常的に体を動かす習慣を身につける事業を展開する |

(4) 障がい者のスポーツ活動の推進

障がい者が日常生活の中でスポーツ・レクリエーション活動に参加することは、自立や社会参加を促進するための重要な取り組みとなっています。

市のスポーツ振興、障がい福祉等の担当部署、障がい者スポーツ協会、福祉団体等が連携し、障がい者のスポーツ活動が促進されるような環境づくりに取り組みます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|----------------|---|
| 1 | 障がい者のスポーツ機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者がともに同じルールのもとで行う競技会を開催するなど、市体育協会や市障がい者スポーツ協会等と連携を図りながら、障がい者のスポーツ活動の機会を創出する ・障がい者スポーツ大会を開催し、障がい者のスポーツ活動と交流機会を提供する |

(5) スポーツ推進委員の活動促進

スポーツ推進委員は、身近な地域での市民のスポーツ活動を支え、促進する重要な役割を果たしています。県などが主催する研修会への参加や自主研修会などを通じて資質向上を図るとともに、スポーツ推進委員の活動を広く市民に周知し、身近な地域で行うスポーツ活動の促進に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|---------------------|---|
| 1 | スポーツ推進委員派遣事業の実施【再掲】 | ・PTA、地域事業、老人クラブが行うスポーツ関連事業にスポーツ推進委員を派遣する |
| 2 | ニュースポーツの普及促進【再掲】 | ・スポーツ推進委員の派遣事業などを通じて、誰もが手軽に楽しめる各種ニュースポーツの普及促進に努める |
| 3 | スポーツ推進委員の活動促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員が主体となる事業の展開を図る ・資質向上のための研修会へ派遣する ・スポーツ推進委員派遣事業の周知を図る |



千厩地域ソフトバレーボール大会



室根自治会対抗ゲートボール大会

2) 競技スポーツの推進



全国トップレベルの大会、さらにはオリンピックなどの国際大会で本市出身の選手が活躍することは、市民に夢と感動を与えるとともに、市民のスポーツへの関心や意欲を高め、スポーツ活動の推進につながることを期待されます。

本市の誇りとなる競技者が数多く育つよう、ジュニア期からの一貫した指導を視野に入れ、スポーツ指導者やスポーツ団体等と連携し、競技力の向上に対する支援を行うとともに、市民ニーズに対応した指導者の育成を支援します。

【施策】

(1) 競技力の向上

スポーツ選手を育成するため、全国大会等への出場に対する支援を行うとともに、市体育協会や種目別競技協会等と連携し、プロスポーツ選手などのトップアスリート、高い技術力のある指導者等から指導を受ける機会の充実に努めます。

また、全国大会や国際大会で活躍するスポーツ選手の競技力強化を図るため、強化試合や強化合宿等への参加に対する支援に取り組みます。

競技力の向上のためには専門的知識を有する指導者の育成が重要であることから、講習会の開催支援などを通じて、スポーツ活動を支える指導者の育成に取り組みます。

さらに、競技人口の増加を図るため、各種競技スポーツを体験できる機会の創出に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|-------------------|---|
| 1 | トップアスリートの育成に対する支援 | ・市を拠点に全国大会や国際大会に出場し活躍するトップアスリートの育成強化を図るため、強化合宿等に要する経費を助成する |
| 2 | 全国体育大会等への出場に対する支援 | ・東北規模以上の競技大会に出場する小中学生及び高校生の遠征費を助成する |
| 3 | スポーツ講演会等の開催 | ・著名なスポーツ関係者による講演会や、アスリートによるスポーツ教室を開催する |
| 4 | 県民体育大会等への出場に対する支援 | ・県民体育大会、一関・盛岡間駅伝競走大会に出場する選手の遠征費を助成する |
| 5 | 競技スポーツの体験機会の創出 | ・種目別競技協会と連携し、各種競技スポーツを体験できる機会を創出する |
| 6 | 指導者育成に対する支援 | ・市体育協会と連携し、競技団体等の指導者の育成を支援する |
| 7 | 市内の高等学校等との連携 | ・市内の高等学校、高等専門学校、短期大学と、学生の競技スポーツの推進等について話し合う場を設け、連携体制の強化に努める |
| 8 | 指導者相互の交流の場の創出 | ・市体育協会や市指導者協議会等と連携を図り、指導者相互の交流の場の創出に努め、更なる競技力の向上に向けた取組等について検討する |

(2) 各種大会の開催・支援

市内でのトップレベルの大会の開催は、市民のスポーツへの興味関心を高めるほか、選手やスタッフとしての関わり、大会観戦を通じて意欲や競技力の向上につながることから、全国規模の大会の誘致等に対する支援に取り組みます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|------------|---|
| 1 | 各種大会の開催・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・種目別競技協会等が誘致又は主催する大会の開催を支援する ・市内への宿泊を伴う東北規模以上の大会の開催を支援する |



トップアスリート育成強化支援選手認定式



花泉マラソン大会「瀬古利彦杯」



平昌 2018 オリンピック冬季競技大会 女子スノーボード競技
岩淵麗楽選手（東山町出身）応援 パブリックビューイング

3) スポーツ団体等の育成・支援



市民の主体的・継続的なスポーツ活動を推進するため、市体育協会等スポーツ団体の組織の充実強化を図るとともに、スポーツ活動を支える団体や人材の育成・確保に努めます。

【施策】

(1) 市体育協会等スポーツ団体の支援

市体育協会が本市のスポーツ推進の中核として十分な活動が行えるよう、組織の強化や活動に対する支援に努めます。

また、市体育協会と連携し、種目別競技協会が行う競技の普及、選手強化、指導者の資質向上などを図る活動の支援や、地区体育協会が行う地域住民のスポーツ活動を推進する事業の支援に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|--------------------|--------------------------------------|
| 1 | 市体育協会の組織強化・活動の支援 | ・市体育協会の運営や活動に要する経費を補助する |
| 2 | 種目別協会及び地区体育協会の活動支援 | ・市体育協会と連携し、種目別競技協会及び地区体育協会が行う活動を支援する |

(2) スポーツ少年団の活動支援

スポーツ少年団は、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成や競技力の向上などに貢献しており、子どものスポーツ活動の推進に欠かせない存在となっています。しかしながら、活動する団員は減少傾向にあることから、市体育協会や種目別競技協会と連携し、スポーツ少年団への加入促進や指導者・リーダーの確保なども含めたスポーツ少年団活動の支援に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|------------------|--------------------------------------|
| 1 | スポーツ少年団の活動支援【再掲】 | ・一関市体育協会や種目別競技協会と連携し、スポーツ少年団の活動を支援する |

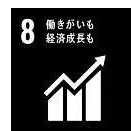
(3) 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援

少子化が進み、学校単位での部活動等が難しくなってきたこと、また、学校の働き方改革を踏まえた中学校の部活動改革などにより児童・生徒のスポーツ活動の場が変化してきていることを背景に、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブが果たす役割に対する期待が大きくなってきています。

地域のニーズに対応した新たなクラブ設立への支援を行うとともに、クラブに対する市民の関心を高め、積極的な利用が図られるよう、種目別競技協会や地区体育協会と連携し、クラブの育成や地域への定着を支援します。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|----------------------|--|
| 1 | 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援 | ・新たな総合型地域スポーツクラブの設立及び活動を支援する ・既設の総合型地域スポーツクラブとの連携を強化し、活動を支援する |

4) スポーツ交流の推進



スポーツ大会、スポーツイベント、合宿等を通じた交流は、スポーツの推進はもとより、地域資源の有効な活用により地域の魅力を全国に発信するとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化などの様々な効果をもたらします。

本市は、東北新幹線や東北自動車道の高速交通網が備わり、首都圏をはじめ他地域からアクセスの良い恵まれた立地条件にあり、また、栗駒山や室根山、北上川など豊かな自然を有することから、本市の地域資源を生かしたスポーツ交流を推進します。

【施策】

(1) スポーツツーリズムの推進

「一関国際ハーフマラソン大会」や「花泉マラソン大会『瀬古利彦杯』」など既存のスポーツイベントや、一関・平泉バルーンフェスティバル、室根地域のパラグライダー、藤沢地域のモトクロスなど、地域の魅力や資源を生かしたスポーツツーリズムを推進し、市外、県外からの参加者や観戦者を増やし、交流人口の拡大を図ります。

また、スポーツツーリズムを推進するため、観光分野との情報共有や連携を図るとともに、いわてスポーツコミッションとの連携を強化します。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|--------------------|--|
| 1 | 競技協会や観光団体等との連携 | ・一関市観光協会、一関商工会議所、競技協会等と連携を図り、情報共有と協議の場を持ちながらスポーツツーリズムの推進に努める |
| 2 | いわてスポーツコミッションとの連携 | ・いわてスポーツコミッションが行う合宿相談会に参加し、大学等のスポーツ部の合宿交流を推進する |
| 3 | 大規模なスポーツ大会・イベントの誘致 | ・競技協会等と連携を図りながら、大規模なスポーツ大会やスポーツイベントの誘致に努める ・市内への宿泊を伴う東北規模以上の大会の開催を支援する |
| 4 | スポーツ合宿の促進 | ・市内でスポーツ合宿を行う大学等の団体に対して、合宿に係る経費を助成する ・スポーツ施設のPRを行うとともに、市内宿泊施設と連携し情報発信に取り組み、合宿誘致に努める |

(2) スポーツ大会・イベントの誘致

市体育協会、種目別競技協会、観光団体等と連携してスポーツ大会などの誘致に取り組みるとともに、各団体等が行う誘致活動への支援などに努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|------------------------|---|
| 1 | 大規模なスポーツ大会・イベントの誘致【再掲】 | ・市体育協会や種目別競技協会等と連携を図り、大規模なスポーツ大会やスポーツイベントの誘致に努める ・市内への宿泊を伴う東北規模以上の大会の開催を支援する |

| | | |
|---|--------------------|--|
| 2 | 競技協会や観光団体等との連携【再掲】 | ・一関市観光協会、一関商工会議所、競技協会等と連携を図り、情報共有と協議の場を持ちながらスポーツツーリズムの推進に努める |
|---|--------------------|--|

(3) スポーツ合宿の誘致

市内のスポーツ施設の有効活用を図るとともに、市民の競技力の向上や交流人口の拡大を図るため、いわてスポーツコミッション、スポーツ団体、市内宿泊施設などと連携し、合宿誘致に取り組みます。また、合宿を受け入れる地域との交流を促進するため、受け入れ団体の支援に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|-----------------------|--|
| 1 | いわてスポーツコミッションとの連携【再掲】 | ・いわてスポーツコミッションが行う合宿相談会に参加し、大学等のスポーツ部の合宿交流を推進する |
| 2 | スポーツ合宿の促進【再掲】 | ・市内でスポーツ合宿を行う大学等の団体に対して、合宿に係る経費を助成する ・スポーツ施設のPRを行うとともに、市内宿泊施設と連携し情報発信に取り組み、合宿誘致に努める |
| 3 | スポーツ合宿の受入体制の整備 | ・大学等のスポーツ部の合宿を受け入れている自治会等の団体に対し、環境整備や地域交流に係る経費を助成する |
| 4 | 観光団体等との連携 | ・一関市観光協会、一関商工会議所等と連携を図り、情報共有と協議の場を持ちながらスポーツツーリズムの推進に努める |



第50回日本女子ソフトボールリーグ
第6節 一関大会



平成30年度 全日本モトクロス選手権シリーズ
第6戦東北大会（藤沢町）

5) スポーツ施設の利用促進



既存施設を最大限に活用して、安全で利用しやすいスポーツ施設の整備を行うとともに、利用者のニーズに対応した適切な管理運営に努めます。

【施策】

(1) スポーツ施設や設備の整備・充実

スポーツ施設利用者が、安全で安心して活動できる環境を提供するため、老朽化が進む施設や設備の計画的な改修を行います。

また、人口減少や少子高齢化が進む中で、スポーツ施設の見直しを検討します。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|------------|---|
| 1 | 安全安心な施設の整備 | ・安全で安心してスポーツ活動ができるよう、必要に応じ既存施設の整備・改修を行う |
| 2 | スポーツ備品等の整備 | ・スポーツ施設に必要な備品を整備する |

(2) 利用者のニーズに応じた管理運営

指定管理者による施設管理のメリットを活かし、専門性、柔軟性を発揮した市民ニーズへの対応を行いながら、効率的、効果的な管理運営に努めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|----------------|---|
| 1 | 安全安心な施設の整備【再掲】 | ・安全で安心してスポーツ活動ができるよう、必要に応じ既存施設の整備・改修を行う |
| 2 | 施設の効率的な活用と利用促進 | ・効率的な利用が図れるよう、利用予約システムの有効活用と利用促進を図る |

(3) スポーツ施設の効率的な利用促進

市広報誌やホームページなどを活用し、施設の利用案内等の情報発信を行うとともに、より利便性が図れるよう公共施設予約システムの見直し等を行い、施設の効率的な利用を促進します。また、スポーツ施設の開放日を設けるなど、気軽に施設が利用できる機会の提供に努めます。

さらに、市民の身近なスポーツ活動の場として、市教育委員会と連携して学校体育施設の活用を進めます。

| | 主な施策 | 施策の概要 |
|---|--------------------|--|
| 1 | スポーツ関連情報の提供【再掲】 | ・市広報誌、市及び市体育協会のホームページなどを活用し、スポーツに関する様々な情報を提供する |
| 2 | 施設の効率的な活用と利用促進【再掲】 | ・効率的な利用が図れるよう、利用予約システムの有効活用と利用促進を図る |
| 3 | スポーツ施設の開放【再掲】 | ・スポーツ施設の開放日の設定などにより、スポーツを始める機会の創出と、施設の周知、利用促進を図る |
| 4 | 学校体育施設の開放 | ・市民の身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設の開放と利用促進を図る |

第5章 計画の推進

- 1 計画の達成度を測る指標
- 2 計画の推進体制
- 3 計画の進行管理
- 4 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業の推進

第5章 計画の推進

1 計画の達成度を測る指標

(1) 一関市総合計画後期基本計画 「スポーツ・レクリエーション活動の推進に係る主な指標」

| | 指 標 | 単 位 | 現状値 | 目標値 【令和7年度末】 | 備考 |
|---|----------------------|-----|-----------------|-----------------|------------------------|
| 1 | スポーツ教室等への市民の参加率 | % | 令和元年度 14.8 | 20 | 現状値に対して概ね5%の増を目指す |
| 2 | 1人当たりの市スポーツ施設利用回数 | 回 | 令和元年度 6 | 6 | 感染症の影響を踏まえ、現状数値の維持を目指す |
| 3 | 市外の選手も参加するスポーツ大会参加者数 | 人 | 令和元年度 23,294 | 23,300 | 感染症の影響を踏まえ、現状数値の維持を目指す |

(2) 本計画で設定する指標

| | 指 標 | 単 位 | 現状値 | 目標値 【令和7年度末】 | 備考 |
|---|--|-----|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1 | 市民のスポーツ実施率 | % | 令和2年度 28.8 | 40 | 現状値に対して概ね10%増を目指す |
| 2 | 全国体育大会等出場補助金の交付件数 | 件 | 平成30年度 79 | 90 | 現状値に対して概ね10%増を目指す |
| 3 | 市内で開催される東北規模以上の競技大会及びトップリーグ等の競技大会の参加者数 | 人 | 令和元年度 20,597 | 23,000 | 現状値に対して概ね10%増を目指す |
| 4 | 合宿促進補助金の交付団体数 | 団体 | 令和元年度 12 | 15 | 現状値に対して概ね25%増を目指す |

2 計画の推進体制

計画を推進するためには、市民、地域、スポーツ関係団体、学校、民間企業・団体、行政などがそれぞれに役割を分担しながら連携・協働していくことが必要です。

(1) 市民

市や地域で行われるスポーツ大会・イベントへの積極的な参加、スポーツ大会の観戦や地元チームの応援、スポーツボランティアへの参加など、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに参画することが期待されます。

(2) 自治会、地域協働体、市民センター

地域住民を主体とした様々な活動にスポーツを取り入れ、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツを通じた地域交流や仲間づくりを推進する役割が期待されます。

(3) 市体育協会、スポーツ少年団、種目別競技協会、地区体育協会

行政と各団体とが相互に連携し、市民が生涯を通じてスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、市民の体力づくりや健康づくりの実践、競技スポーツ等の普及、競技人口の拡大、競技力の向上などを推進する役割が期待されます。

(4) スポーツ推進委員

指導者としての知識や技術の習得に努めるとともに、地域におけるスポーツ活動のリーダーとして、地域住民へのスポーツの実践の啓発やきっかけづくり、実技指導などの役割が期待されます。

(5) 総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体となって運営している特性を活かして、地域住民の興味・関心やレベルに応じた様々なスポーツ活動を継続的に行える場や機会を創出する役割が期待されます。

(6) 学校

学校体育活動を通じて、児童生徒の健康の保持増進や体力の向上などを図るとともに、地域等と連携を図り、学校教育の一環として運動部活動を推進することが期待されます。また、市立小・中学校においては、市民に学校体育施設を開放し、より身近にスポーツ活動に親しめる環境を提供することが期待されます。

(7) 民間企業・団体

企業等が持つ人材、知識、情報、施設などの資源を活かした各種スポーツ大会、スポーツ教室の運営・開催などを通じて、市民のスポーツ活動を推進することが期待されます。

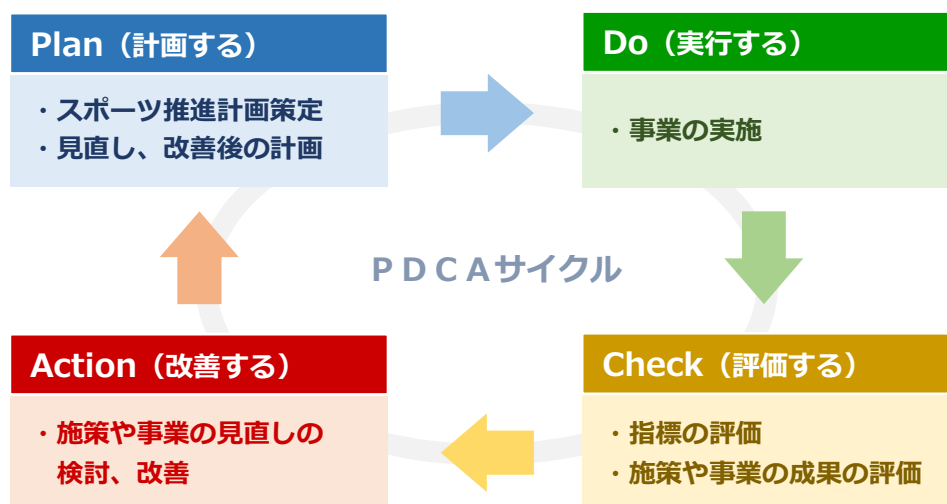
(8) 行政（市）

スポーツ、健康、高齢者福祉、障がい者福祉、学校教育、観光などの担当部署が一体となって、それぞれの分野において各種スポーツ施策を展開するとともに、スポーツ関係団体等と密に連携し、また、県や周辺市町などと情報共有や緊密な協調を図りながら、市のスポーツ施策を推進します。

3 計画の進行管理

計画の推進にあたっては、Plan（計画する）、Do（実行する）、Check（評価する）、Action（改善する）の「PDCA」サイクルで計画の進行管理を行います。

また、市内スポーツ関係団体、学校関係者、まちづくりスタッフなどで構成する一関市スポーツ推進審議会において計画の進捗状況や施策の効果等を検証・評価し、必要に応じて施策や事業の見直し、改善を行いながら、計画の着実な推進を図ります。



4 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業の推進

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、令和元年12月に発生が報告されて以来、世界各地で急速に感染が拡大し、令和2年3月には世界保健機関（WHO）がパンデミック（世界的大流行）を宣言しました。

この感染症は、本市においても個人消費や企業収益、雇用情勢などの地域経済のほか、スポーツ活動全般にも大きな影響を与えています。

このような状況の中、政府は新しい生活様式への移行と実践・定着を提唱しており、本計画の推進にあたっては新しい生活様式を実践するとともに、スポーツ庁が示す「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」などを基に感染予防の対策を講じながら、施策を実施します。

資料編

- I スポーツに関する市民アンケート調査
- II スポーツ関係団体等との懇談会
- III 一関市のスポーツを考えるワークショップ
- IV 一関市スポーツ推進審議会条例
- V 一関市スポーツ推進審議会委員名簿
- VI 計画策定の経過
- VII スポーツ施設一覧
- VIII SDGsにおける17のゴール

I スポーツに関する市民アンケート調査

1. 調査の目的

次期「一関市スポーツ推進計画」の策定にあたり、市民のスポーツやレクリエーション活動の現状・課題を把握する。

2. 調査内容

- (1) 調査対象 令和2年6月30日現在、一関市に居住する満18歳以上80歳以下の男女 1,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による調査票の配布及び回収
- (4) 調査期間 令和2年8月11日（火）～8月31日（月）

3. 回収結果

回収数 372人（回収率37.2%）

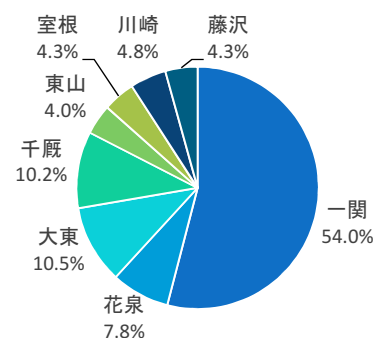
4. 集計について

- (1) 回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問では、回答割合の合計が100%を超える場合がある。
- (2) 各設問の選択肢において、無回答も選択肢の1つとし、無回答も含めて割合を集計した。

【はじめに】

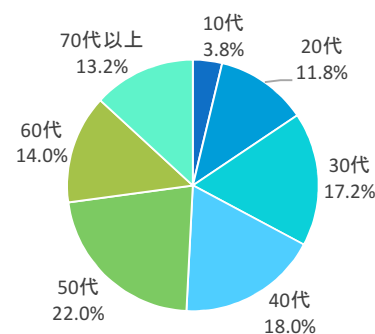
Q1 あなたのお住まいの地域をお答えください（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------|-----|-------|
| 一関 | 201 | 54.0% |
| 花泉 | 29 | 7.8% |
| 大東 | 39 | 10.5% |
| 千厩 | 38 | 10.2% |
| 東山 | 15 | 4.0% |
| 室根 | 16 | 4.3% |
| 川崎 | 18 | 4.8% |
| 藤沢 | 16 | 4.3% |
| 有効回答数 | 372 | |



Q2 あなたの年代をお答えください（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------|-----|-------|
| 10代 | 14 | 3.8% |
| 20代 | 44 | 11.8% |
| 30代 | 64 | 17.2% |
| 40代 | 67 | 18.0% |
| 50代 | 82 | 22.0% |
| 60代 | 52 | 14.0% |
| 70代以上 | 49 | 13.2% |
| 有効回答数 | 372 | |



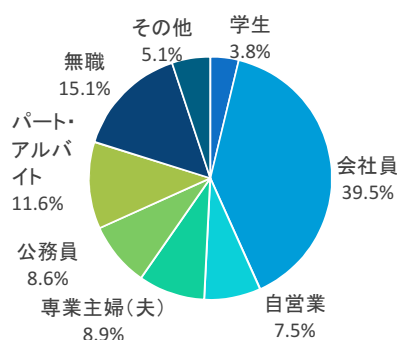
Q3 あなたの性別をお答えください（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------|-----|-------|
| 男 | 172 | 46.2% |
| 女 | 197 | 53.0% |
| 回答しない | 3 | 0.8% |
| 有効回答数 | 372 | |



Q4 あなたの職業をお答えください（1つ選択）

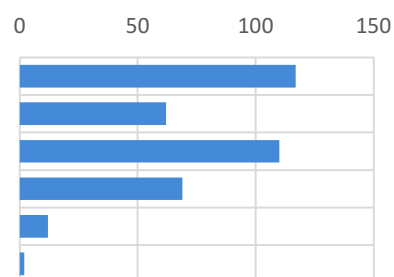
| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| 学生 | 14 | 3.8% |
| 会社員 | 147 | 39.5% |
| 自営業 | 28 | 7.5% |
| 専業主婦（夫） | 33 | 8.9% |
| 公務員 | 32 | 8.6% |
| パート・アルバイト | 43 | 11.6% |
| 無職 | 56 | 15.1% |
| その他 | 19 | 5.1% |
| 有効回答数 | 372 | |



【スポーツ活動について】

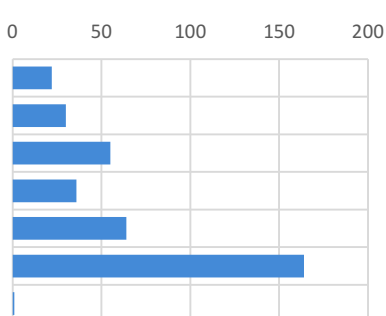
Q 5 あなたは、スポーツをすることが好きですか (1つ選択)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---------------|-----|-------|
| 1. 好き | 117 | 31.5% |
| 2. どちらかと言えば好き | 62 | 16.7% |
| 3. 普通 | 110 | 29.6% |
| 4. あまり好きではない | 69 | 18.5% |
| 5. 嫌い | 12 | 3.2% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 有効回答数 | | 372 |



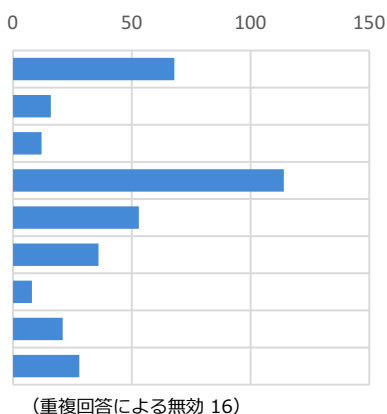
Q 6 あなたは、スポーツをどの程度行っていますか (1つ選択)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---------------|-----|-------|
| 1. 毎日 | 22 | 5.9% |
| 2. 週に3日以上 | 30 | 8.1% |
| 3. 週に1~2日程度 | 55 | 14.8% |
| 4. 月に1~3日程度 | 36 | 9.7% |
| 5. 年に数回程度 | 64 | 17.2% |
| 6. ほとんど行っていない | 164 | 44.1% |
| 無回答 | 1 | 0.3% |
| 有効回答数 | | 372 |



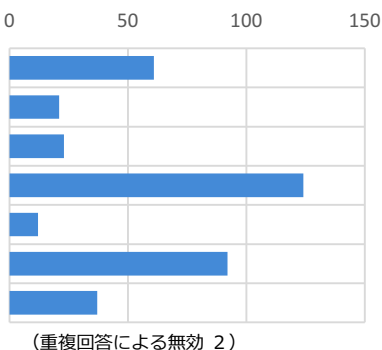
Q 7 あなたがスポーツを行う理由は何ですか (1つ選択)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 楽しいから・好きだから | 68 | 19.1% |
| 2. スポーツを通じた交流 | 16 | 4.5% |
| 3. 友人等のつきあい | 12 | 3.4% |
| 4. 健康・体力の維持 | 114 | 32.0% |
| 5. ストレス解消・気分転換 | 53 | 14.9% |
| 6. 地域や職場の付き合い | 36 | 10.1% |
| 7. 試合・競技大会などの参加 | 8 | 2.2% |
| 8. その他 | 21 | 5.9% |
| 無回答 | 28 | 7.9% |
| 有効回答数 | | 356 |



Q 8 あなたは、スポーツを主にどこで行っていますか (1つ選択)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---------------|-----|-------|
| 1. 市の公共スポーツ施設 | 61 | 16.5% |
| 2. 市内の民間有料施設 | 21 | 5.7% |
| 3. 学校体育施設 | 23 | 6.2% |
| 4. 身近な公園や広場等 | 124 | 33.5% |
| 5. 市外のスポーツ施設 | 12 | 3.2% |
| 6. その他 | 92 | 24.9% |
| 無回答 | 37 | 10.0% |
| 有効回答数 | | 370 |



Q9 <Q6で、「① 毎日」「② 週に3日以上」「③ 週に1～2日程度」と答えた方への設問>
あなたが主に行っているスポーツは何ですか（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | |
|----------------------------|-----|-------|---------------|----|----|----|----|----|--|
| 1. 競技スポーツ | 22 | 21.8% | | | | | | | |
| 2. ニュースポーツ | 5 | 5.0% | | | | | | | |
| 3. 軽体操（ラジオ体操など） | 6 | 5.9% | | | | | | | |
| 4. ヨガ、エアロビクス、アクアエクササイズなど | 6 | 5.9% | | | | | | | |
| 5. ジョギングやランニング | 8 | 7.9% | | | | | | | |
| 6. 散歩やウォーキング、徒歩での通勤・通学・買い物 | 39 | 38.6% | | | | | | | |
| 7. 器具や機器を利用したトレーニング | 6 | 5.9% | | | | | | | |
| 8. その他 | 7 | 6.9% | | | | | | | |
| 無回答 | 2 | 2.0% | | | | | | | |
| 有効回答数 | | 101 | (重複回答による無効 6) | | | | | | |

Q10 <Q6で、「④ 月に1～3日程度」「⑤ 年に数回程度」「⑥ ほとんど行っていない」と答えた方への設問>
あなたがあまりスポーツをしていない理由は何ですか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 50 | 100 | 150 |
|----------------------------|-----|-------|---|----|-----|-----|
| 1. スポーツが嫌い、苦手 | 32 | 12.1% | | | | |
| 2. 仕事や家事、育児などで時間がない | 117 | 44.3% | | | | |
| 3. 一緒に行く仲間がない | 24 | 9.1% | | | | |
| 4. 年齢や体力に応じた指導を受ける機会がない | 19 | 7.2% | | | | |
| 5. サークルやクラブ活動などの情報がない | 16 | 6.1% | | | | |
| 6. 適度なスポーツができる場所や施設が身近にない | 29 | 11.0% | | | | |
| 7. お金がかかる | 20 | 7.6% | | | | |
| 8. 自分の生活時間と施設や教室の利用時間が合わない | 43 | 16.3% | | | | |
| 9. 機会がない | 50 | 18.9% | | | | |
| 10. 特に理由はない | 35 | 13.3% | | | | |
| 11. 身体的な理由で運動を行えない | 20 | 7.6% | | | | |
| 12. その他 | 10 | 3.8% | | | | |
| 無回答 | 26 | 9.8% | | | | |
| 有効回答数 | | 264 | | | | |

Q11 <Q6で、「④ 月に1～3日程度」「⑤ 年に数回程度」「⑥ ほとんど行っていない」と答えた方への設問>
あなたが、条件が整えばやってみたいと思うスポーツは何ですか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | |
|--------------------------|-----|-------|---|----|----|----|----|-----|--|
| 1. 競技スポーツ | 60 | 22.7% | | | | | | | |
| 2. ニュースポーツ | 28 | 10.6% | | | | | | | |
| 3. 軽体操（ラジオ体操など） | 28 | 10.6% | | | | | | | |
| 4. ヨガ、エアロビクス、アクアエクササイズなど | 75 | 28.4% | | | | | | | |
| 5. ジョギングやランニング | 32 | 12.1% | | | | | | | |
| 6. 散歩やウォーキング | 77 | 29.2% | | | | | | | |
| 7. その他 | 17 | 6.4% | | | | | | | |
| 8. 特になし | 40 | 15.2% | | | | | | | |
| 無回答 | 14 | 5.3% | | | | | | | |
| 有効回答数 | | 264 | | | | | | | |

【市の事業について】

Q12 あなたは、市の委託事業などで一関市体育協会が実施しているスポーツ教室やスポーツ大会等（※）に参加したことがありますか（1つ選択）

（※ ヨガやエアロビクスなどの生涯スポーツ教室や、ソフトバレーボールやマラソンなどの市民スポーツ大会等）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 50 | 100 | 150 | 200 |
|-----------------------------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 1. よく参加する | 10 | 2.7% | | | | | |
| 2. 何回か参加したことがある | 72 | 19.4% | | | | | |
| 3. 実施していることは知っているが参加したことはない | 177 | 47.6% | | | | | |
| 4. 実施していることを知らない | 103 | 27.7% | | | | | |
| 無回答 | 10 | 2.7% | | | | | |
| 有効回答数 | | 372 | | | | | |

Q13 <Q12で、「① よく参加する」または「② 何回か参加したことがある」と答えた方への設問>

あなたは、その事業を何で知りましたか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 20 | 40 | 60 |
|-------------------|-----|-------|---|----|----|----|
| 1. 市の広報・ホームページ | 20 | 24.4% | | | | |
| 2. 一関市体育協会のホームページ | 11 | 13.4% | | | | |
| 3. 新聞・ラジオ等 | 5 | 6.1% | | | | |
| 4. チラシ | 6 | 7.3% | | | | |
| 5. 知人・友人等から | 49 | 59.8% | | | | |
| 6. その他 | 3 | 3.7% | | | | |
| 無回答 | 5 | 6.1% | | | | |
| 有効回答数 | | 82 | | | | |

Q14 <Q12で、「① よく参加する」または「② 何回か参加したことがある」と答えた方への設問>

あなたが参加した事業は何ですか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 10 | 20 | 30 | 40 |
|------------------|-----|-------|---|----|----|----|----|
| 1. ヨガ教室 | 12 | 14.6% | | | | | |
| 2. ピラティス教室 | 0 | 0.0% | | | | | |
| 3. エアロビクス教室 | 9 | 11.0% | | | | | |
| 4. アクアウオーキング教室 | 2 | 2.4% | | | | | |
| 5. スポーツウエルネス吹矢教室 | 5 | 6.1% | | | | | |
| 6. 初心者のための登山教室 | 3 | 3.7% | | | | | |
| 7. マラソン大会・駅伝大会 | 5 | 6.1% | | | | | |
| 8. 市民体育大会・体育祭 | 37 | 45.1% | | | | | |
| 9. ソフトバレーボール大会 | 24 | 29.3% | | | | | |
| 10. その他 | 17 | 20.7% | | | | | |
| 無回答 | 1 | 1.2% | | | | | |
| 有効回答数 | | 82 | | | | | |

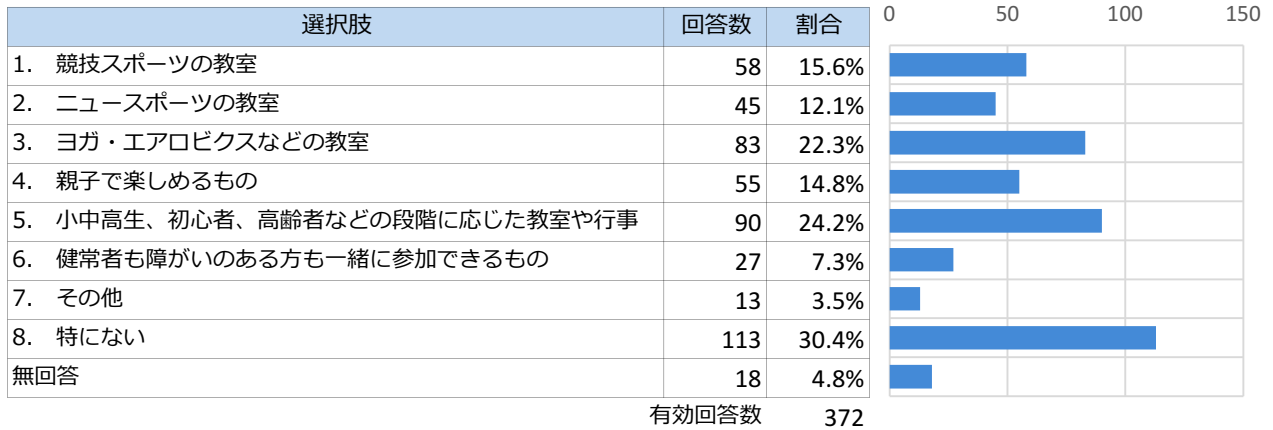
Q15 <Q12で、「③ 実施していることは知っているが参加したことはない」と答えた方への設問>

あなたが参加しない理由は何ですか（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 |
|------------------|-----|--------|---|----|----|----|----|
| 1. 都合が合わない | 61 | 35.7% | | | | | |
| 2. 一緒に参加する仲間がいない | 20 | 11.7% | | | | | |
| 3. 気が引ける・恥ずかしい | 15 | 8.8% | | | | | |
| 4. 参加したい内容のものが無い | 17 | 9.9% | | | | | |
| 5. 興味がない | 40 | 23.4% | | | | | |
| 6. その他 | 14 | 8.2% | | | | | |
| 無回答 | 4 | 2.3% | | | | | |
| 合計 | 171 | 100.0% | | | | | |
| 有効回答数 | | 171 | | | | | |

（重複回答による無効 6）

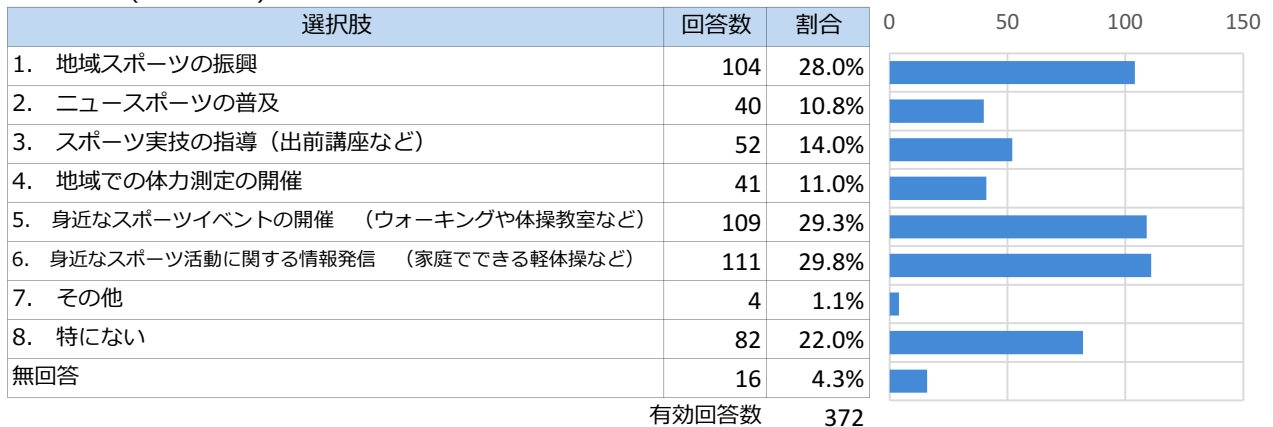
Q16 あなたが参加してみたい、あるいは今後実施してほしいスポーツ教室等がありますか（複数回答可）



Q17 あなたは、市内各地域で行われるPTAや民区のレクリエーション活動で、市のスポーツ推進委員がニュースポーツなどの実技指導を行う派遣事業があることを知っていますか（1つ選択）



Q18 あなたは、市のスポーツ推進のため市内各地域で活動しているスポーツ推進委員（55名）に、どのような役割を期待しますか（複数回答可）



【スポーツ施設について】

Q19 あなたが主に利用する市のスポーツ施設はどこですか（複数回答可）



Q20 あなたは、市のスポーツ施設についてどのようにお考えですか（1つ選択）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|----------------------------|-----|-------|
| 1. 施設は十分に備わっており、満足している | 21 | 5.6% |
| 2. 施設は比較的備わっており、おおむね満足している | 118 | 31.7% |
| 3. 十分な施設が備わっておらず、満足していない | 51 | 13.7% |
| 4. よくわからない | 171 | 46.0% |
| 無回答 | 11 | 3.0% |
| 有効回答数 | | 372 |

Q21 <Q20で、「③十分な施設が備わっておらず、満足していない」と答えた方への設問>

市のスポーツ施設としてもっと充実してほしい施設は何ですか（自由記載）

◇ 屋内プール

- ・ 仕事の合間など、いろいろな時間で利用したい。
- ・ 年齢とともに無理な運動はできないため、高齢になっても続けられる水中ウォーキングなどを行いたい。
- ・ 混雑していると足腰の弱い高齢者は利用できないので、時間帯により年齢制限を設けてほしい。
- ・ 今ある地域以外にもプールを整備してほしい。

◇ トレーニング施設

- ・ 設備や器具が整った大型トレーニング施設がほしい。
- ・ トレーニング室があるのに利用できない体育館があるので、改善してほしい。
- ・ 施設の数が少ないので気軽に行けない。
- ・ 初めての時は特に、器具の使い方を指導してくれる人がいてほしい。
- ・ 育児のため遠くのトレーニング室まで行けないので、遅い時間まで利用できる施設が近くにあるといい。
- ・ 健康管理機器を設置して、インストラクターを常駐させてほしい。

◇ 体育館

- ・ もっと気軽に利用したい。
- ・ 体育館が無料で利用できるといい。
- ・ 子どもと自由に利用したい。
- ・ 古い体育館を建て替えてほしい。
- ・ トランポリンを設置して指導してほしい。
- ・ 清潔感がほしい。
- ・ スポーツ大会を開催するような体育館には冷暖房を完備して欲しい。駐車場も大きくしてほしい。
- ・ バウンドテニスがしたい（東口体育館など）。

◇ その他

- ・ トレーニング室やプールなどを備えている複合のスポーツ施設がほしい。
- ・ スケートボードやインラインスケート、BMXができる常設パークがほしい。
- ・ 自転車が自由に走れるサイクリングコースがあるといい。
- ・ 収容人数が多い野球場がほしい。
- ・ 近くに2面くらいの屋根つきのゲートボールコートがほしい。
- ・ 体育館以外の施設があまりない。運動できる施設が少ない。
- ・ ウォーキングコースやランニングコースが整った公園や広場があるといい。
- ・ 家族単位で何でもできるスポーツ公園があるといい。
- ・ 屋外施設が管理棟から死角になっており、日中でも不安な時がある。安心して使えるようにしてほしい。
- ・ スタジオをつくって、夕方や土日など参加しやすい時間帯でエアロビクス教室を開催してほしい。

Q22 あなたは、一関市公共施設予約システムを利用し、パソコンやスマートフォンなどから市のスポーツ施設の空き状況の確認や利用予約をしたことがありますか（1つ選択）

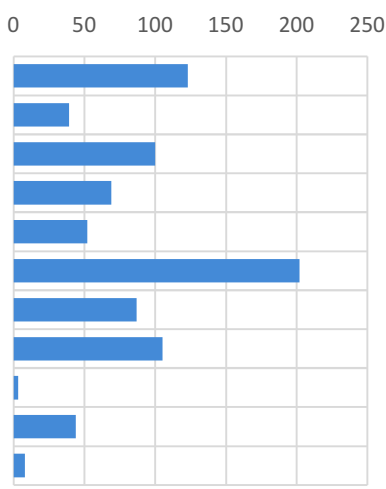
| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------------------------|-----|-------|
| 1. したことがある | 27 | 7.3% |
| 2. できることは知っているがやったことはない | 92 | 24.7% |
| 3. できることを知らなかった | 238 | 64.0% |
| 無回答 | 15 | 4.0% |
| 有効回答数 | | 372 |



【スポーツ施策について】

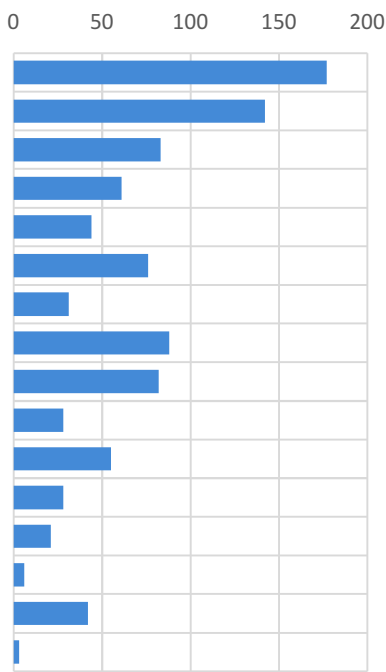
Q23 あなたが地域のスポーツ活動に期待する効果は何ですか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 地域コミュニティの活性化 | 123 | 33.1% |
| 2. 地域経済の活性化 | 39 | 10.5% |
| 3. 高齢者の生きがいづくり | 100 | 26.9% |
| 4. 世代間交流の促進 | 69 | 18.5% |
| 5. 青少年の健全育成 | 52 | 14.0% |
| 6. 健康づくりの推進 | 202 | 54.3% |
| 7. スポーツ施設の有効活用 | 87 | 23.4% |
| 8. 余暇時間の有効活用 | 105 | 28.2% |
| 9. その他 | 3 | 0.8% |
| 10. わからない | 44 | 11.8% |
| 無回答 | 8 | 2.2% |
| 有効回答数 | | 372 |



Q24 あなたは、今後一関市のスポーツを推進するために何が重要だと思いますか（複数回答可）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---------------------------------------|-----|-------|
| 1. 市民が気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催 | 177 | 47.6% |
| 2. 子ども、社会人、高齢者など、各世代に合ったスポーツ活動の推進 | 142 | 38.2% |
| 3. 誰もが気軽に実践できるニユースポーツの普及推進 | 83 | 22.3% |
| 4. スポーツ団体や地域でのスポーツ活動への支援 | 61 | 16.4% |
| 5. スポーツ大会誘致による交流拡大や競技スポーツの推進 | 44 | 11.8% |
| 6. トップアスリートとの交流や実技指導を受ける機会 | 76 | 20.4% |
| 7. スポーツ指導者や審判員の育成 | 31 | 8.3% |
| 8. 公共スポーツ施設の整備・充実 | 88 | 23.7% |
| 9. プロスポーツや国際大会の観戦など「みるスポーツ」機会の創出 | 82 | 22.0% |
| 10. 健常者と障がい者が一緒に行うスポーツ活動の推進 | 28 | 7.5% |
| 11. スポーツ活動に関する情報提供の充実 | 55 | 14.8% |
| 12. ボランティアによるスポーツの指導やスポーツイベントの運営協力の推進 | 28 | 7.5% |
| 13. 総合型地域スポーツクラブの推進 | 21 | 5.6% |
| 14. その他 | 6 | 1.6% |
| 15. わからない | 42 | 11.3% |
| 無回答 | 3 | 0.8% |
| 有効回答数 | | 372 |



Q25 あなたは、今後一関市のスポーツを推進するために何が必要だと思いますか（自由記載）

1. スポーツ行政について

| | |
|-------|---|
| 20代 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報誌などにスポーツに関する情報を増やして、高齢者などにもわかりやすく、また、気軽にイベントや大会の申込ができるようにする。 ・新聞やラジオ、市の広報等をあまり活用しない若い世代向けに、コンビニや駅など若者が多く利用する施設等を活用して周知を図るなど、まずは活動を知ってもらうことに力を入れる。 ・レクリエーションスポーツと競技スポーツを分けて考える必要があると思う。 |
| 30代 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動をしているのかよくわからない。 ・ラジオ番組などで周知を図りながら、もっと積極的な活動や施設の提供をする。 |
| 40代 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用した施設予約は便利なので、これからもインターネットの活用を期待している。 ・スポーツをすることは大切であると感じているが、学校の部活動時間の制限に関連して、スポ少活動や父母会練習等におけるスポーツ施設の利用制限などをしっかり考えてほしい。 ・公共施設予約システムは、団体に所属する人数に比例してシステムを利用できる人が多くなる。公平性を保つため、団体ごとにシステムが利用できる人数を制限するのが良い。 ・地域の有望な選手への支援は非常に良いことだと思う。選手育成に対する支援を充実してほしい。 |
| 50代 | <ul style="list-style-type: none"> ・閉校した学校の体育館の再利用を進めると、身近な運動施設になるのではないかな。 ・プロのプレーヤーを間近で見ることは子ども達への良い刺激になる。各競技でプロ選手等による指導会をたくさん増やし、長く競技を楽しむためのいい機会をつくってほしい。 ・子ども達向けにメンタルが強くなる指導、家庭向けにケガのない栄養指導の機会があるといい。 ・公共施設の空き施設を活用して、身近なスポーツ交流に取り組む。 ・指導者はボランティア的立場で行っている方が多いのではないかな。安全の確保、指導力向上などを考えてしっかりとした支援が必要である。 ・様々な競技で、将来有望なスポーツ選手の発掘と支援を進める。 |
| 60代 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われるスポーツイベントを年間表の形で知りたい。 ・世代に合った無理のないスポーツがしたい。 ・誰もが元気に年を重ねたいと思っている。万歩計の活用や、FMあすもを活用したストレッチの呼びかけなど、小さな取組の積み重ねを大事にしてスポーツを進めてほしい。 ・100万歩挑戦ウォーキングなど、参加者自らのアイデアで行事を開催する。 ・市内には様々なスポーツの有資格者が多くいると思う。その整備活用を行うことで地域スポーツの育成につながるのではないかな。また、一関のスポーツはこれ、という宣言もいい指標になる。 |
| 70代以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・増加する高齢者やひとり暮らしの家庭の健康維持や元気確認、世代間交流や青少年の健全育成、地域の活性化やコミュニティづくりのため、今後もスポーツの推進や活動支援をお願いしたい。 ・体育協会が民区で高齢者の仲間づくりをする。 |

2. スポーツ教室、スポーツイベントについて

| | |
|-----|--|
| 20代 | <ul style="list-style-type: none"> ・土日の午前中などに、エアロビクスやヨガの教室、イベントなどを開催してほしい。 |
| 30代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーが好きなので、社会人チームの試合などを市内で開催してほしい。 ・競わずに1人でできるエアロビクス、ヨガ、ウォーキングには興味がある。 ・託児ありのスポーツイベントや教室があるとうれしいし、ストレス発散ができる。 ・スポーツイベントに参加したい気持ちはあるが、子供が小さくてなかなか行けない。子供を遊ばせながらスポーツができるなら、ぜひ参加したい。夕方からだと仕事終わりに参加しやすい。 |

| | |
|-------|--|
| 40代 | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間にできるスポーツ教室を増やしてほしい。 ・各行事は土日に行われているが、自分の休みを利用してまで参加することには気が進まない。 ・仕事のスタイルの変化により、休日に行なわれる大会に参加できない人が多くなっていると思う。 ・スポーツ教室は日中仕事をしていると参加できないことが多い。また、3か月程度の短期のものが多いため、長期的な健康や体力の維持のためには利用しづらい。今はオンラインやSNSで様々なスポーツ動画の視聴やレッスン受講ができるので、そのようなものを増やしてほしい。 |
| 50代 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な理由から、体への負担が少なく健康づくりを行える活動があれば参加したい。 ・平日は仕事で行けない人が多い。中高年向けのニュースポーツやヨガ、ストレッチ体操等の企画を、ユードームなどで土日の午後からやってほしい。 ・今は仕事が忙しくて参加できないが、定年退職後には機会があれば参加したい。 |
| 60代 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした教室やイベント等は、ほとんど平日に行われている。60代でも働いている人は多いので、日曜日に開催してもらえるとありがたい。 ・年齢別のスポーツを企画してもらえれば、興味がわくかもしれない。 |
| 70代以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のスポーツの指導に取り組んでほしい。 ・高齢者や1人暮らしの人たちが気軽に集まってできる体操などが良い。 ・離れた地域で行われているものは、移動距離を考えて参加を断念することがたびたびある。参加者が少なくなるかもしれないが、会場を変えて実施してほしい。 |

3. スポーツ施設について

| | |
|-------|--|
| 10代 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんな競技でもできるような施設を増やしてほしい。施設をもっと利用したいので、学生の利用料を安くしてほしい。 ・学生に無料で体育館を使わせてほしい。 ・初心者から上級者まで楽しめるスケートボードパークを設置してほしい。 ・重度の障がい者でも、サポートを受けながら健常者と一緒に利用できるスポーツ施設があるといい。 |
| 20代 | <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日でも子供と一緒に遊べる室内施設がほしい。 |
| 30代 | <ul style="list-style-type: none"> ・年中利用できる屋内市民プールがほしい。 ・大人も子供も、雨の日でもスポーツを楽しめる所があるといい。 ・ボルダリング施設を設置してほしい。体全体を使うスポーツがいいと思う。 ・スラックラインができるスポーツ施設がほしい。 ・近くに充実したトレーニングジムがほしい。1人で気軽に空いた時間にできる運動がしたい。 ・スノーボードでオリンピック選手を生み出した地域であるにもかかわらず、関連したアクションスポーツの施設がないのは残念。 ・以前住んでいた所には近くにジムがあり利用していた。やはり近くにないとやる気になれない。 |
| 40代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジムが市内に点在しているので施設をまとめてほしい。一箇所に集約された施設なら利用したい。 ・藤沢地域にあるような、雨天でも使える施設があれば子供たちはうれしいのではないかな。 ・施設利用者のほとんどが自家用車利用なので、公共スポーツ施設の建設は十分な駐車場整備と併せて進めてほしい。 |
| 50代 | <ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけスポーツ施設を1つの場所にまとめ、温泉施設を建設してほしい。 ・散歩コースや公園など、孫と遊びながら運動ができる施設がたくさんあればいいと思う。 ・市民プールが年間通して使えないのはもったいない。 |
| 70代以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンを整備してほしい。 ・余暇時間の多い高齢者にとって、気軽にいつでも運動ができる施設があればありがたい。 |

4. その他

| | |
|-------|---|
| 20代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動しやすい環境が少ない。 |
| 30代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前はボウリング場があったが、スポーツに限らず、遊びで体を動かせる所があればいいと思う。 ・ 市外から引っ越して来たが、施設の少なさや設備が充実していないことに物足りなさを感じた。子供のスポ少活動を考えたが、種目が少なく残念に思った。子供がスポーツをしたいと言っても市内でできない種目も多い。市民が気軽にスポーツができる機会や場所が増えたらいいと思う。 |
| 50代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動することが特別なことのように思われている。誘うと「無理」「疲れるから」などと言われる。 ・ 仕事中心から家庭中心の生活に変わったので、地域の人と交流のあるスポーツを行ってみたい。 ・ 50歳以上の社会人はまだまだ健康で、子育ても一段落して自分の時間を使える人が増えると思うが、スポーツ活動が少ないと感じる。 ・ 兼業農家で休日は家内作業を行うため、スポーツ等の参加が難しい。 ・ スポーツ活動によって、明るく楽しい生活ができる一関市になるといいと思う。 ・ 無料での参加（受講）が根付いているように思われるが、少額でも参加料を負担し、双方で意識を持つことが大切なのではないか。 ・ 様々なスポーツを通じて心身の健康増進と人口増加が図られ、時には優秀な選手が生まれ、一関市全体が活気にあふれるとうれしい。 |
| 60代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ トップウェルネス一関の休館によりスポーツをする機会を失っている。自分の興味ある講座を選べ、また、市街地にあることから有効に活用していた。市での利活用を考えてほしい。 |
| 70代以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビや新聞等で見聞きしているスポーツに取り組む姿は、日々のとても良い励みになっている。 ・ 軽体操は身軽にすぐできるため、もっと充実してほしい。 ・ 以前住んでいた所では、歩数計や歩数計アプリを活用し、安価な参加費で楽しみながら健康づくりに取り組める事業を行っていたので、参考にするのもいいと思う。 |

II スポーツ関係団体等との懇談会

1. スポーツ推進委員との懇談会

- (1) 開催日 令和2年10月21日(水)
- (2) 会場 一関保健センター 多目的ホール
- (3) テーマ ・スポーツ推進委員活動の現状と課題
・市民のスポーツ活動への関わり方について
- (4) 参加者数 24名

<主な意見等のまとめ>

| 役割について |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での活動において、スポーツ推進委員にできることがもっとあると思う。推進委員の役割をもう少し明確にしてほしい。 ・ 各地域で行われるスポーツ行事へのスポーツ推進委員の関わり具合に、地域差があると感じる。 ・ 高齢者のスポーツ活動への関わりが多く、地域全体のスポーツ活動の推進に対する関わりが少ないように感じる。 ・ 市体育協会や地域協働体などとの関わりを深めるため、懇談の場を設けていくのがいいのではないかと。 |
| 事業や活動について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の活動が、派遣要請に応えることに限定されている。 ・ キンボールやポッチャなどを推進しようと活動してきたが、あまり普及につながっていないように思われる。趣味の多様化などにより、スポーツ推進委員の活動がうまくかみ合っていないところもあるのではないかと。 ・ 自分が従事した活動以外の部分が見えにくいので、各地域での派遣の活動状況や、他自治体での活動情報などをスポーツ推進委員全体で共有することで、今後の活動の向上につなげられるのではないかと。 ・ 市民アンケートの結果を見ると、市民のスポーツ活動は、主に健康や長寿を見据えたものとなっている。現在のスポーツ推進委員の活動はイベント的な事業への関わりが主になっているので、日常的に生活に取り入れられる運動に対する取組も必要なのではないかと。 ・ 各地域で、事業への派遣が知っている人同士での依頼になると、声がかかる推進委員とかからない推進委員が出てくる。適材適所の派遣となるような仕組みが必要なのではないかと。 ・ スポーツをしてもらうためには体力測定により自分の体力を知ることが有効だと思う。各地域で体力測定会をやってはどうか。 ・ ニュースポーツの推進など、これまでスポーツ推進委員が積み重ねてきた活動を、今後も活かしていくことも大事だと思う。 ・ 市のオリジナル体操である「いちのせき体操」をスポーツ推進委員も覚えて、親子レクなどへの派遣の時に準備体操に取り入れると、周知や普及につながると思う。 |
| 知名度の向上や周知について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣依頼をする団体が固定化している。 ・ 競技指導の自主研修などを行っているが、活用できる場があまりない。市体育協会、競技協会、学校などへの橋渡しがあれば活動の場が広がり、知名度の向上にもつながるのではないかと。 ・ スポーツ推進委員の活動を紹介するチラシを作成して配布したが、あまり効果につながっていないように感じる。 ・ 今年からスポーツ推進委員として活動しているが、自分自身がスポーツ推進委員を知らず、何をしたらいいのかわからなかった。また、派遣先でも認知度は高くないと感じたので、まずは活動を知ってもらうことが大切だと思う。 ・ 春に学校のPTAが集まるような機会での周知や、市の広報誌を活用するのもいいのではないかと。 ・ 紙媒体での周知もいいと思うが、口伝えはより効果があると感じる。例えばPTA活動への関わりを増やすためには、学校の先生から役員の方へ口添えしてもらうのもいいと思う。 |

委員の選出について

- ・活動に従事する人が固定化している現状があることから、積極的に参加する人が選出されるような仕組み作りが必要ではないか。
- ・スポーツ推進委員の役割や活動内容などの説明を十分に行ったうえで選出することで、委員になってからの活動がスムーズになり、自覚や責任を持つことにもつながるのではないか。

市のスポーツ全般について

- ・イベントを開催するだけでなく、どのようにしたら市民のスポーツ活動につながるかということを考えることが大事だと思う。
- ・今は動画配信を通じた運動もできる環境にある。市民のスポーツ活動の推進においても、そのような観点で考えることも必要であると思う。
- ・例えば、FMあすもで「いちのせき体操」を毎日決まった時間に流せば、その時間に体操に取り組むという習慣ができるのではないか。健康長寿の観点でスポーツ活動を考えるのであれば、手軽に続けられる環境をつくるのが大切であると思う。
- ・高齢者のスポーツ活動について、競う楽しみや目標を持つことも継続につながるのではないか。例えば、市民センターに同じ種目の用具を配備して日常的な練習につなげ、市民センターなどの主催で大会を開催するのもいいのではないか。輪投げの用具などは、手作りでも対応できると思う。
- ・市体育協会で行っている 500 円で参加できるスポーツ教室は続けてほしい。時間帯や内容の充実も図っていただきたい。

2. 競技団体等との懇談会

| 名称 | 日時 | 会場 | 対象者 | 参加者数 |
|------------------|-------------------|---------------|---|------|
| 競技団体等との懇談会【屋外競技】 | 令和2年 10月27日(火) | 一関市産業教養文化体育施設 | ・(一社)一関市体育協会 ・種目別競技協会 ・総合型地域スポーツクラブ | 14名 |
| 競技団体等との懇談会【屋内競技】 | 令和2年 10月29日(木) | 一関市総合体育館 | ・小学校・中学校・高等学校の各体育連盟 | 13名 |

<主な意見等のまとめ>

(1) テーマ1 各団体における現状と課題について

① 競技人口の減少について

| 現 状 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の影響による競技人口の減少に伴い、大会の参加チームも減少している。 ・ スポーツ少年団、中学校、高等学校においては、新規の団員や部員の確保が難しくなり、活動休止や廃部となっている団体がある。 ・ 部活動で取り組める競技に限られ、学校の枠を超えた活動を行っている現状がある。 ・ 有望な若い選手が地元に残らず、進学や就職で市外に流出している現状がある。 ・ 役員が長年固定されており、組織内での後継者の育成が進んでいない。 ・ 指導スタッフの確保が難しく、各種教室の開催が難しくなっている。 |
| 課 題 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状のチームの活動を継続していくためには、指導者の計画的な配置が必要である。 ・ 地域クラブの創設など、いつでも、誰でも好きなスポーツに継続的に取り組むことができるよう、地域で競技活動を支える環境づくりが必要である。 ・ 幼少期からスポーツへの関わりを持たせるため、年間を通じた教室の開催と、スポーツ少年団との協力体制の構築が必要である。 ・ 園児や小学生への競技普及を図るため、教室やイベントへなどの勧誘活動を行うための窓口が幼稚園や小学校にあると、普及活動が活性化される。 ・ 市内の学校を卒業して地元で就職した経験者などを会員として取り込み、組織拡大を図る。 ・ 大学、社会人で競技を行ってきたアスリートが一関に定着するような環境整備が必要ではないか。 ・ 各種大会を開催してスポーツに関わる人を増やし、スポーツによる人材の育成を図る。 ・ 冬季の学習の一環として、まつるベスノーランドを活用したスキー教室を開催すると、スキー競技の普及や施設利用の促進につながることを期待される。 |

② 競技力の向上や指導者育成について

| 現 状 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 市体育協会の補助事業を活用し、著名な指導者を招へいした指導者育成講習会などを開催し、選手育成・強化を図っている。 ・ ワークショップ的な指導者講習会的を開催しており、成績向上に結びついている。 ・ 大規模大会の開催を通じて役員の育成と運営力の強化、選手の競技力の向上を図っている。 ・ 一般選手の強化練習への地区大会上位入賞の中高生の参加、高校生の強化練習への一般選手の参加、高校生を練習相手にした中学生の強化練習など、年代を超えた技術強化に取り組んでいる。 ・ 社会人のクラブや事業所チームが減少し、卒業後も競技を続けることが難しくなっている。 ・ 若手の競技人口が少なく、指導者の資格を取る人が少ない。 |

| 課 題 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者同士の連携と情報共有の場の確保が必要である。 ・ 競技力向上の取組は幼少期から始めるのが良い。選手強化事業でトップアスリートを招聘すると子ども達の良い刺激になっている。 ・ 指導者資格取得講習会や、外部指導者を招聘しての指導法の研修会等の開催が必要。また、開催に対する支援も必要である。 ・ 強い選手は、幼い頃から指導者に恵まれている。競技力の向上には、スポーツ少年団の指導者の育成が大事である。 ・ 指導者の資質やコーチング技術の向上を図る必要がある。 ・ 大規模大会は、プロ化などが進み中、誘致が難しくなっており、各競技の中央組織とのつながりが大事になっている。 |

③ スポーツ施設について

| 現 状 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 一関水泳プールは、充実した設備で県内でも評価が高い一方で、利用期間が2か月と短く、年間を通じた水泳競技の普及やレクリエーション施設の提供ができていない。 ・ 弓道は高齢者でも取り組むことができるが、一関武道館の弓道場は3階にあるため上り下りが大変である。また、観客エリアがなく、観戦や見学を通じた競技の普及が難しい。 ・ 冬場のスポーツ活動をするにあたり、暖房設備の整った施設が少ない。設備が充実した施設は人気があつてなかなか利用できない。 |
| 課 題 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市のスポーツ施設は使用料が安いと、近隣市町からの利用が多く、市内の団体等の利用に影響している現状もあることから、市民がもっと利用しやすい環境を整えることが必要ではないか。 ・ プールは幅広い年代の人が様々な目的で利用しているスポーツ施設なので、多くの需要に対応できるような整備が必要と考える。 ・ 冬場の安定した活動場所の確保のため、各施設の暖房設備の完備を進めてほしい。 |

(2) テーマ2 一関市のスポーツ振興について

| スポーツ活動の推進について |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツは生涯にわたって取り組むもの。幼児期から高齢期まで、それぞれの年代に対してアプローチする必要がある。 ・ 幼児期にスポーツを体験させ、楽しさを伝える場がたくさんあることが大切である。 ・ 小学生にとっては、1つの競技に偏らないスポーツ経験が必要だと思われる。市全体として様々な競技経験ができる機会が増えるといいと思う。 ・ 幼稚園、小学校、学童施設が種目別競技協会の積極的な活用を図り、子どもが競技に触れる機会を増やすような取組があるといいと思う。 ・ 市の事業として、種目別競技協会と連携し、市民が参加しやすい事業を企画して普及を図ることが望まれる。 ・ 障がい者のスポーツ活動を推進するため、市内各地域を巡回してニュースポーツのミニ体験会を実施している。 |

| |
|---|
| <p>総合型の地域クラブの創設について</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い年齢層のスポーツ活動を推進するため、活動を支える地域クラブの創設が望まれる。創設にあたっては、活動場所の確保、継続的な活動に対する支援、運営に対する人的支援などが必要と考える。 ・ 多くの子どもにスポーツに興味を持たせるため、総合型のスポーツ少年団を組織して、まずは様々な競技を経験させ、競技を絞っていく中で適した競技を見いだせるのではないかと。市、市体育協会、種目別競技協会、地域が一体となって進める必要がある。 ・ 今後さらに、学校単位や学区単位でのチーム活動が難しくなることが予想されることから、学校の枠を超えたスポーツクラブの創設が必要と考える。専門の指導者の確保や交通手段の確保の課題もあるが、一貫した指導による競技力の向上が期待される。 ・ 地域型のクラブに集まって好きな競技に取り組み、育てていければと思うが、中学生の大会は学校単位での出場となっているのが現状としてある。 ・ 総合型地域スポーツクラブの創設がなかなか進まない要因として、指導者が様々な競技に対応しなければならないことや、クラブマネージャーの育成が難しいことにあるのではないかと。 |
| <p>各種支援について</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ トップリーグ、全国大会などの大規模大会、強化合宿等の積極的な誘致を行い、競技力向上並びに市民の「みるスポーツ」を推進することが望まれる。そのために、大会開催やスポーツ合宿実施に対する更なる補助が必要と考える。 ・ 市内に女子ソフトボールのクラブチームが発足したが、クラブチーム発足に官民が一体となって資金援助する仕組みづくりも必要ではないかと。 ・ 全国大会出場に対する支援や選手の育成強化に対する支援は、選手にとって励みであり、保護者にとってもありがたい事業なので、充実を図りながら今後も継続してほしい。 ・ 上位大会出場に対する支援はあるが、競技に取り組む子ども全体に対する支援として、何年かに1回のローテーションの形で、競技協会への用具費の補助があるといいと思う。 |
| <p>新型コロナウイルス感染症に対する対策について</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症に対する継続的な感染予防体制を構築したうえで各種事業を推進し、スポーツの振興を図ることが必要である。 ・ 感染症対策の具体策を示しながら、安全に対する協力と理解を得ていく必要がある。 ・ 感染症の影響で、接触を伴う競技は今後も避けられるのではないかと危惧している。予防策を徹底して、いかに安全に競技を行っているかということもPRする必要がある。 |

Ⅲ 一関市のスポーツを考えるワークショップ

| 日時 | 対象地域 | 会場 | 対象者 | 参加者数 |
|-------------------|-----------------------------|----------|--|------|
| 令和2年 11月2日(月) | 大東、東山 | 摺沢市民センター | ・各地区体育協会 ・スポーツ少年団 ・小中学校PTA ・地域協働体の関係者 | 21名 |
| 令和2年 11月4日(水) | 一関（一関・山目・中里・ 巖美・萩荘・舞川地区） | 一関市総合体育館 | | 26名 |
| 令和2年 11月10日(火) | 一関（真滝・弥栄地区） 花泉 | | | 16名 |
| 令和2年 11月13日(金) | 千厩、室根、川崎、藤沢 | 千厩市民センター | | 20名 |

<主な意見等のまとめ>

(1) テーマ1 生涯スポーツの推進について

- ・ 1つのスポーツに偏ると、競技に対する熱量が下がったり、ケガをしたりすることがきっかけでやめてしまう可能性もある。小さい頃から様々なスポーツを体験して、選択の幅を広げるといいのではないかと。
- ・ 親がスポーツをしていないと、子どももスポーツをすることに馴染みがないのではないかと。
- ・ スポーツ少年団に加入する子どもが減っている。少子化の影響もあるが、「土日は家族と過ごしたい」という意識の変化もあるのではないかと。
- ・ 競技団体などが地域や学校に出向いて出前教室を行い、子どもも大人も、まずはお試して気軽にスポーツを体験できる機会を持つことで、その後の興味につながるのではないかと。
- ・ 地域に縛られず、やりたいスポーツができる機会があることが必要である。学校の部活は、少ない人数を分散させるのではなく、「バレーボールをするならこの学校」というように、学校ごとに部活の種目を割り振ることなどもいいのではないかと。
- ・ 公園で、子どもがやりたい球技やスポーツができるようにしてほしい。また、鉄棒、足ツボマッサージができる場所など、スポーツを身近に親しめるような環境を整備してはどうか。
- ・ 有名な選手を呼び、スポーツに触れるきっかけづくりをしたらいいのではないかと。グラウンド・ゴルフなどの有名選手を呼んで、シニアの人たちの活動を盛り上げるのもいいのではないかと。
- ・ スポーツ推進委員に、「なぜスポーツは大事なのか」を伝える役割を担ってもらってはどうか。
- ・ 働いているときは地域との交流はほとんどないが、定年後は地域が社会との接点になり、体を動かすことも地域がきっかけになるかもしれない。地域の行事への参加に声をかけてくれるようなリーダーが必要だと感じる。
- ・ 「生涯」＝高齢者のイメージで、子どもも含まれているとは想像していなかった。改めて、年代に合ったスポーツを推進することや、その機会や場所が重要だと感じた。
- ・ 年齢によって、やりたいスポーツが変わってくる。様々なスポーツが体験できる機会が必要と考える。1回の体験では次につながりにくいので、ある程度の期間を設けて体験させて、その後のサークルなどの団体を立ち上げるサポートも必要だと思う。
- ・ スポーツがしたい人を仲介する仕組みが必要ではないかと。市体育協会のホームページなどを活用して、市内のスポーツ団体の情報を発信したり、情報を一覧化して回覧したりするのはどうか。YouTubeなどの動画でのレクチャーや情報発信も必要ではないかと。

(2) テーマ2 競技スポーツの推進について

- ・低学年の時に、「スポーツって良いな」と感じることができる機会をつくるのが大切だと思う。体験できるスポーツの選択肢を多くしてほしい。
- ・団体競技は体験機会が少ないため、選択肢になりにくい。団体競技の体験を通じて、スポーツ少年団や中学校の部活動で団体競技を選ぶきっかけをつくってほしい。
- ・スポーツでの「勝ち負け」へのこだわりや意欲が少なく、やっているだけで満足する子どもが多いのではないか。トップレベルの選手やプロのプレーに触れる機会があると、意欲の向上につながるのではないか。
- ・住所地の学区の中学校で、やりたい競技に取り組める環境づくりが必要である。部活動とクラブチーム等での活動を、同等のものとして選択できるような仕組みがあるとよい。
- ・クラブチーム化を進めるにあたり、現在、学校単位の参加となっている大会のあり方も見直していかなければならない。
- ・地元出身のプロ選手などの情報を提供する媒体や、選手を応援できるような仕組みがあると、市全体としての競技スポーツの機運が高まるのではないか。
- ・成人後も地元で競技スポーツを続けたり、指導者としての関わりを続けたりするためには、その人の職場や雇用者の理解が不可欠だと感じる。
- ・指導者のレベルアップが必要である。コーチングや救急救命の講習会を開催するとともに、「競技を楽しむ」という指導ができる人材を養成してほしい。
- ・指導者を地域に残すような取り組みが必要である。資格取得に係る費用補助や、指導者講習会の招致などのサポートがあるとよい。
- ・大会が多く、審判などの調整も多くなり、保護者等の負担が増えている。また、審判などの資格取得に係る費用の負担も大きいので、市で補助してほしい。
- ・自分が所属する団体の会費のほかに、地区協会、市協会、県協会などへの登録料がそれぞれに必要となることが多く、金銭的負担が大きい。遠征等の負担も大きいことから、それらに対する補助があれば、スポーツをするハードルが低くなると思われる。
- ・市内にソフトボールのクラブチームができて盛り上がっている。各種目でそのような動きが進めば、市全体が盛り上がってくるのではないか。

(3) テーマ3 スポーツ施設の利用促進について

- ・施設の予約について、スポーツ推進の視点から、生涯スポーツや競技スポーツなどの分野ごとに利用枠を設定して、抽選制にしたらいのではないか。
- ・公共施設予約システムを知らない人が多いので、もっと周知が必要である。
- ・公共施設予約システムは、スムーズに利用予約が行える一方で、市内の他地域の人の利用も多く、住んでいる地域にある施設の予約がなかなか取れないこともある。地元地域の人が優先的に使えるような配慮があると良いと思う。
- ・年数回、スポーツ施設を無料開放してほしい。種目を決めてインストラクターが指導してくれるような仕組みをつくるなど、開催方法も検討してほしい。
- ・各施設の設備や用具についての情報を一覧化して発信してほしい。スポーツ施設だけでなく、学校の体育館の空き状況も知りたい。
- ・限られた人や団体が施設を利用しているように感じる。市広報誌などで、どのようなことに施設が利用できるかという情報を発信するのいいと思う。施設の場所や規模がわかるようなマップもあるのいいと思う。
- ・市内にトレーニング室が少ない。また、既存のトレーニング機器が古いと感じる。
- ・スポーツ施設は何でもあるということではなく、地域に特化した施設整備を行ってはどうか。どの施設を、いつまでに、どのようにするかという計画を作成して整備するのがいいと思う。
- ・eスポーツやAIなど、時代に合った施設や設備の整備を進めるのが良い。
- ・冬は屋外で練習が出来ないため、屋内練習場の整備が必要だと感じる。

IV 一関市スポーツ推進審議会条例

平成18年3月24日

条例第37号

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、一関市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) スポーツ推進計画に関すること。
- (2) その他スポーツの推進に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) スポーツ関係団体の役員
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、必要に応じ会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、まちづくり推進部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成23年12月9日条例第51号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月12日条例第2号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(一関市スポーツ推進審議会条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に前項の規定による改正前の一関市スポーツ推進審議会条例第3条第2項の規定により委員に委嘱された者で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）に当該委員の任期に残任期間があるものは、施行日に前項の規定による改正後の一関市スポーツ推進審議会条例第3条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。この場合において、その者の任期は、改正後の一関市スポーツ推進審議会条例第4条の規定にかかわらず、当該残任期間と同一の期間とする。

V 一関市スポーツ推進審議会委員名簿

(令和2年7月21日現在)

| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|-----|---------|-----------------------|
| 会長 | 吉家 義博 | 一般社団法人一関市体育協会 常務理事 |
| 副会長 | 廣長 千鶴子 | 一関市スポーツ推進委員協議会 会長 |
| 委員 | 阿部 稔 | 一関市スポーツ少年団本部 本部長 |
| 委員 | 伊東 三四司 | 興田体育協会 会長 |
| 委員 | 上野 文枝 | 小梨体育協会 事務局 |
| 委員 | 江刺 邦昌 | 一関市バスケットボール協会 会長 |
| 委員 | 大和田 コト | 一関市スポーツ指導者協議会 会長 |
| 委員 | 佐々木 由紀子 | 一関市水泳協会 理事 |
| 委員 | 佐藤 伸哉 | 一関地方小学校体育連盟 会長 |
| 委員 | 佐藤 隆一 | 岩手県高等学校体育連盟県南支部 事務局長 |
| 委員 | 澁谷 喜一 | 一関市ソフトボール協会 理事長 |
| 委員 | 菅原 芳久 | 一関市PTA連合会 副会長 |
| 委員 | 田村 純一 | まちづくりスタッフバンク |
| 委員 | 千田 真也 | スポーツアカデミー一関 所長 |
| 委員 | 千葉 京子 | 一関市保健推進委員連絡協議会 会長 |
| 委員 | 千葉 整一 | 一関市フェンシング協会 会長 |
| 委員 | 千葉 美幸 | 一関商工会議所観光部会 副部会長 |
| 委員 | 中野 信雄 | 一関市老人クラブ連合会 一関支部体育部会長 |
| 委員 | 萩田 進 | 特定非営利活動法人グッジョブクラブ 理事長 |
| 委員 | 皆川 啓 | 一関地方中学校体育連盟 会長 |

※氏名五十音順（会長及び副会長を除く）・敬称略

<事務局>

- ・ まちづくり推進部長 佐藤 孝之
- ・ まちづくり推進部次長兼スポーツ振興課長 猪股 悦子
- ・ スポーツ振興課スポーツ振興係長 滝澤 清
- ・ スポーツ振興課 後藤 美佳
- ・ スポーツ振興課 上木 達也
- ・ スポーツ振興課 大瀬 浩平

VI 計画策定の経過

| 年月日 | 会議名等 | 内容 |
|---------------------------------------|--|--|
| 令和2年 7月21日(火) | 第1回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・市長より諮問 ・計画策定の主旨等の説明、スケジュール案の検討、市民アンケート調査案の検討 |
| 8月11日(火) ～31日(月) | 一関市民のスポーツ活動に関するアンケート調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動について ・市の事業について ・スポーツ施設について ・スポーツ施策について |
| 10月21日(水) | スポーツ推進委員との懇談会 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動の現状と課題 ・市民のスポーツ活動への関わり方について |
| 10月23日(金) | 第2回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート結果の報告、計画の構成の検討 |
| 10月27日(火) 29日(木) | スポーツ関係団体との懇談会 【対象】 一関市体育協会、種目別競技協会、 総合型地域スポーツクラブ、 小・中・高体育連盟、 スポーツ指導者協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・各団体における現状と課題について ・一関市のスポーツ振興について |
| 11月2日(月) 4日(水) 10日(火) 13日(金) | 一関市のスポーツを考えるワークショップ 【対象】 地区体育協会、スポーツ少年団関係者、 小・中学校PTA、地域協働体 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進について ・競技スポーツの推進について ・スポーツ施設の利用促進について |
| 12月4日(金) | 第3回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会及びワークショップの開催内容の報告、本市のスポーツの現状と課題についてのまとめ、計画の基本理念と施策の方向性の検討 |
| 12月23日(水) | 第4回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画案の検討 |
| 令和3年 1月7日(木) | 一関市観光協会及び一関商工会議所との意見交換 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの推進について |
| 1月27日(水) | 第5回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画案の検討 |
| 2月22日(月) | 一関市議会 総務常任委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画案の説明 |
| 2月24日(水) ～3月10日(水) | パブリックコメント | <ul style="list-style-type: none"> ・計画案に対する意見を市民から募集 |
| 3月12日(金) | 第6回 スポーツ推進審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・答申案の検討 ・市長への答申 |

Ⅶ スポーツ施設一覧

(令和2年4月1日現在)

| 通し 番号 | 施設区分 | 施設名 | 所在地 | 設置年 | 指定 管理 |
|----------|----------------|------------------|-----------------|-----|----------|
| 1 | 水泳プール | 一関水泳プール | 狐禅寺字石ノ瀬 18-4 | H24 | ○ |
| 2 | | 花泉水泳プール | 花泉町涌津字古川 8 | S47 | ○ |
| 3 | | 東山B & G海洋センター | 東山町長坂字西本町 212-8 | S60 | ○ |
| 4 | | 藤沢B & G海洋センター | 藤沢町徳田字大望沢 37-10 | H5 | ○ |
| 5 | 野球場 | 一関運動公園野球場 | 萩荘字箱清水 4-2 | H4 | ○ |
| 6 | | 東台野球場 | 東台 14-23 | S60 | ○ |
| 7 | | 花泉運動公園野球場 | 花泉町花泉字伊勢沢 14-3 | S60 | ○ |
| 8 | | 大東野球場 | 大東町摺沢字上堺ノ沢 72 | S62 | ○ |
| 9 | | 伊勢館公園野球場 | 大東町鳥海字清水 22 | S59 | ※ |
| 10 | | 千厩野球場 | 千厩町千厩字神ノ田 48-1 | S51 | ○ |
| 11 | | 東山球場 | 東山町長坂字西本町 169-4 | S63 | ○ |
| 12 | | 室根野球場 | 室根町折壁字宝下 56-1 | H10 | ○ |
| 13 | テニスコート | 一関運動公園テニスコート | 萩荘字箱清水 4-2 | H2 | ○ |
| 14 | | 花泉運動公園テニスコート | 花泉町花泉字伊勢沢 14-3 | H4 | ○ |
| 15 | | 花泉テニスコート | 花泉町老松字水沢 185-1 | S56 | ○ |
| 16 | | 春日公園テニスコート | 大東町大原字川内 35 | S56 | |
| 17 | | 伊勢館公園テニスコート | 大東町鳥海字細田 15-1 | S59 | ※ |
| 18 | | 清田テニスコート | 千厩町清田字落合 2-1 | H2 | ○ |
| 19 | | 千厩多目的グラウンドテニスコート | 千厩町千厩字草井沢 32-2 | H7 | ○ |
| 20 | | 東山テニスコート | 東山町長坂字西本町 160 | H元 | ○ |
| 21 | | 室根テニスコート | 室根町折壁字向山 85 | H9 | ○ |
| 22 | | 川崎テニスコート | 川崎町薄衣字法道地 151-4 | H9 | ○ |
| 23 | | 藤沢テニスコート | 藤沢町藤沢字仁郷 50-3 | S61 | ○ |
| 24 | 陸上競技場 | 一関運動公園陸上競技場 | 萩荘字箱清水 4-2 | H8 | ○ |
| 25 | 多目的 グラウンド | 一関運動公園多目的広場 | 萩荘字箱清水 4-2 | H5 | ○ |
| 26 | | 花泉運動公園多目的競技場 | 花泉町花泉字伊勢沢 14-3 | H2 | ○ |
| 27 | | 大東グラウンド | 大東町摺沢字上堺ノ沢 72 | H元 | ○ |
| 28 | | 春日グラウンド | 大東町大原字川内 27 | H3 | |
| 29 | | 千厩多目的グラウンド運動広場 | 千厩町千厩字草井沢 32-2 | H7 | ○ |
| 30 | | 東山多目的グラウンド | 東山町長坂字西本町 169-1 | H4 | ○ |
| 31 | | 川崎運動広場 | 川崎町薄衣字法道地 152-5 | H9 | ○ |
| 32 | | 藤沢運動広場 | 藤沢町藤沢字仁郷 41 | H21 | ○ |
| 33 | サッカー・ ラグビー場 | 一関サッカー・ラグビー場 | 狐禅寺字石ノ瀬 98-1 | H26 | ○ |
| 34 | | 萩荘サッカー場 | 萩荘字長者原 250-1 | H9 | ○ |
| 35 | | 千厩多目的グラウンドサッカー場 | 千厩町千厩字草井沢 32-2 | H6 | ○ |

| 通し 番号 | 施設区分 | 施設名 | 所在地 | 設置年 | 指定 管理 |
|----------|---------|-------------------|----------------------|------------|----------|
| 36 | ソフトボール場 | 一関運動公園ソフトボール場 | 萩荘字箱清水 94-2 | H 7 | ○ |
| 37 | | 千厩多目的グラウンドソフトボール場 | 千厩町千厩字草井沢 32-2 | H 7 | ○ |
| 38 | 体育館 | 一関市総合体育館 | 狐禅寺字石ノ瀬 25-3 | H 11 | ○ |
| 39 | | 東口体育館 | 字柳町 4-1 | R 2 | ○ |
| 40 | | 花泉体育館 | 花泉町老松字水沢 209-1 | S 54 | ○ |
| 41 | | 花泉第二体育館 | 花泉町涌津字古川 8 | S 43 | ○ |
| 42 | | 大東体育館 | 大東町摺沢字新右工門土手 49-3 | S 57 | ○ |
| 43 | | 大東バレーボール記念館 | 大東町鳥海字細田 24 | H 7 | ※ |
| 44 | | 大東勤労者体育センター | 大東町大原字川内 35 | H 2 | |
| 45 | | 千厩体育館 | 千厩町千厩字館山 50 | S 43 | ○ |
| 46 | | 東山総合体育館 | 東山町長坂字北山谷 247 | H 11 | ○ |
| 47 | | 東山農村勤労福祉センター | 東山町松川字滝ノ沢 129-6 | S 61 | ○ |
| 48 | | 室根体育館 | 室根町折壁字向山 85 | S 61 | ○ |
| 49 | | 川崎体育センター | 川崎町薄衣字法道地 151-5 | H 8 | ○ |
| 50 | | 藤沢体育館 | 藤沢町藤沢字町裏 187 | S 52 | ○ |
| 51 | | 藤沢スポーツプラザ | 藤沢町藤沢字仁郷 12 | S 62 | ○ |
| 52 | | 武道館 | 一関武道館 | 三関字桜町 50-4 | S 59 |
| 53 | 千厩武道館 | | 千厩町千厩字館山 50 | H 4 | ○ |
| 54 | 弓道場 | 花泉弓道場 | 花泉町涌津字山中 31-108 | H 4 | ○ |
| 55 | キャンプ場 | 尾花が森キャンプ場 | 萩荘字要害山田 110-24 | S 53 | ○ |
| 56 | | 花泉運動公園キャンプ場 | 花泉町花泉字伊勢沢 14-3 | S 62 | ○ |
| 57 | | 飛ヶ森キャンプ場 | 千厩町奥玉字飛ヶ森 11-80 | S 46 | ○ |
| 58 | | 黄金山キャンプ場 | 千厩町小梨字新地 366-1 | H 5 | ○ |
| 59 | パークゴルフ場 | 唐梅館パークゴルフ場 | 東山町長坂字西本町 217-1 | H 12 | ○ |
| 60 | クラブハウス | 唐梅館総合公園クラブハウスえぼっく | 東山町長坂字西本町 212-8 | H 3 | ○ |
| 61 | | ニコニコドーム | 藤沢町徳田字大望沢 37-11 | H 7 | ○ |
| 62 | スケート場 | 千厩アイスアリーナ | 千厩町千厩字上駒場 360-14 | H 6 | ○ |
| 63 | ゲートボール場 | すばーく藤沢 | 藤沢町徳田字大望沢 37-4 | H 7 | ○ |
| 64 | その他 | 一関市産業教養文化体育施設 | 東台 50-46 | H 6 | ○ |
| 65 | | 藤沢ニコニコヘルス | 藤沢町徳田字大望沢 37-10 | H 6 | ○ |
| 66 | | 藤沢スポーツランド | 藤沢町新沼字西風 40 | H 3 | ○ |

1. 根拠条例

一関市スポーツ施設条例、一関市産業教養文化体育施設条例、一関市藤沢ニコニコヘルス条例、一関市藤沢スポーツランド条例

2. 指定管理について

※印の3施設（伊勢館公園野球場、伊勢館公園テニスコート、大東バレーボール記念館）は、令和3年4月1日より地域協働体に指定管理委託予定

Ⅷ SDGsにおける17のゴール

SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

|  | | | |
|---|---|---|--|
| | |  | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。 |
|  | 1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。 |  | 10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。 |
|  | 2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。 |  | 11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。 |
|  | 3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。 |  | 12 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。 |
|  | 4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。 |  | 13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。 |
|  | 5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。 |  | 14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。 |
|  | 6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。 |  | 15 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。 |
|  | 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。 |  | 16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のため平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。 |
|  | 8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。 |  | 17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。 |

一関市スポーツ推進計画

令和3年3月

発行：一関市 まちづくり推進部 スポーツ振興課

〒021-8501

岩手県一関市竹山町7番2号

TEL 0191-26-0860 (直通)

FAX 0191-21-5770

e-mail sport@city.ichinoseki.iwate.jp
